Canon

レーザビームプリンタ

Satera

LBP3970/3920

ＬＩＰＳ機能ガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

 このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いているガイドは､付属の取扱説明書CD-ROMに収められているPDFマニュアルです。

目的	ガイド	
• プリンタを設置するには • コンピュータと接続するには • オプション品を取り付けるには	**設置ガイド**	
• トラブルの簡単な解決方法を知るには • プリンタの簡単な使いかたを知るには	**かんたん操作ガイド**	
• 基本的な使いかたを知るには • 困ったときには	**ユーザーズガイド**	
• プリンタドライバのインストール方法を知るには • 印刷するには • 添付ソフトウェアの使いかたを知るには	**LIPS ソフトウェアガイド**	
• いろいろなネットワークの設定方法を知るには	**ネットワークガイド／本編**	
• 操作パネルを使ってプリンタを設定するには	**LIPS 機能ガイド（本書）**	
• Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには	**リモート UI ガイド**	

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル	LIPS 対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。
オプション品に付属の取扱説明書	オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成について

第１章　メニュー機能の使いかた　必ずお読みください

第２章　メニューの機能と操作　必ずお読みください

第３章　共通セットアップメニューの設定項目

第４章　LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

第５章　ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

第６章　IMAGING 専用セットアップメニューの設定項目

第７章　セットアップ以外のメニューの設定項目

第８章　付録

ソフトウェアのバージョンアップ方法やユーティリティメニューから出力できるリスト、動作モードを切り替えて出力できるリストの内容などについて説明しています。

巻末に、各メニューの階層を示す「メニュールートマップ」があります。各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。

本製品のリモート UI を使い、コンピュータからリモートで設定や管理を行う場合は添付の「リモート UI ガイド」（CD-ROM）もお読みください。

ユーザーズガイドをあわせてお読みください。

目次

第３章　共通セットアップメニューの設定項目

第４章　LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

第 5 章　ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

第 6 章　IMAGING 専用セットアップメニューの設定項目

はじめに

このたびはキヤノンLBP3970/3920をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンについて

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]
  例：[オンライン]
  [ユーティリティ]
- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]
  例：[OK]
  [変更]

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows Vista™ operating system 日本語版：	Windows Vista
Microsoft® Windows® operating system：	Windows
Extended Unix Code：	EUC

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

UFST は、Agfa Monotype Corporation の商標です。

Agfa は、Agfa-Gevaert AG の登録商標です。

Apple、Apple Talk、Mac OS、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体 TM W3、平成角ゴシック体 TM W5 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品が対応しているコントロールコマンドについて

標準対応しているコントロールコマンドについて

本製品は標準で LIPS、ESC/P エミュレーションコマンドに対応しています。

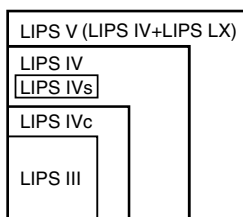
コントロールコマンドとは、プリンタを制御するコマンド体系のことで、コンピュータのデータを印刷するという一連の作業は、すべてコンピュータから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。

メモ　本機を N201、IBM5577、HP-GL などの標準プリンタとしてエミュレートさせることもできます。この場合、オプションのコントロール ROM が必要です。

■ LIPS モード

LIPS は、LBP Image Processing System の略で、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPS に対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）は、このモードで印刷します。Windows や Macintosh では、付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的に LIPS モードで印刷します。

LIPS には、現在 LIPS II、LIPS II+、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IVs、LIPS IV、LIPS LX のバージョンがあります。これらのうち本機では、LIPS II+、LIPS III、LIPS IV、LIPS LX に対応しています。

LIPS V は、LIPS IV（LIPS II+、LIPS III を含む）および LIPS LX から構成されたコマンド体系の総称です。LIPS LX は、最新の OS に最適化されたプリンティングシステムです。印刷処理をコンピュータとプリンタで分散させて行うため、高速な印刷が行なえます。また、プリンタのメモリ追加を行なわない場合でも、高速な印刷が可能です。

メモ
- LIPS II+ 対応アプリケーションソフトを使用する場合、従来のレーザショットシリーズで行った印刷とは解像度が異なります。
- LIPS IVc 対応アプリケーションソフトからも本製品で印刷することができますが、解像度の違いにより、印刷結果の見た目は異なります。
- LIPS LXはWindows 2000/XP/Server 2003/VistaおよびMac OS Xのみで使用可能です。

■ **ESC/P エミュレーションモード**

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）、AX コンピュータで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのコンピュータで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときは、このモードで印刷します。セイコーエプソン（株）が提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

コントロールコマンドごとの動作モード

本製品はコンピュータから送られてきたデータのコントロールコマンドを判別して、自動的に動作モードを LIPS モード、ESC/P エミュレーションモードに切り替えることができます。ただし、アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが限定されている場合や、自動切り替えでうまく動作モードが切り替わらないときは以下のように、コントロールコマンドと動作モードを対応させます。

LIPS のコントロールコマンドでデータを受け取って印刷できる状態にするには「LIPS モード」、ESC/P のコントロールコマンドでデータを受け取って印刷できる状態にするには「ESC/P エミュレーションモード」に切り替えます。本製品では操作パネルのメニュー機能を使って動作モードを切り替えたり、印刷するときの環境を設定することができます。

BMLinkS について

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）が推進しているオフィス機器インタフェースです。BMLinkS を利用することで、ネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続することができます。

BMLinkS の詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章プリンタの使いかた」を参照してください。

ダイレクトプリントについて

ダイレクトプリントは、プリンタドライバを使用せずにホスト端末からファイルをプリンタに転送し、ファイルそのものをプリンタが認識し、印刷する機能です。したがって、ファイルを開いて印刷する必要がありません。

印刷するには、リモート UI から印刷したい TIFF/JPEG 形式の画像ファイルを指定します。

また、コマンドプロンプトからのコマンド入力（LPR コマンド）によるダイレクトプリントにも対応しています。

ダイレクトプリントの詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章プリンタの使いかた」を参照してください。

メニュー機能の使いかた

この章では、プリンタの操作パネルに表示されるメニューの機能と種類、操作キーの使いかた、ディスプレイの見かたについて説明しています。

メニュー機能

メニュー機能の概要や種類について説明しています。

メニュー機能とは

印刷時には、印刷枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。

しかし、本プリンタには、印刷枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、多様な用途に応じて印刷できます。本プリンタの設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。

メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。

メニュー機能を設定する方法には次の 2 種類があります。

■ プリンタの操作パネルで設定する方法

プリンタのディスプレイの表示を見ながらキーを押して操作します。

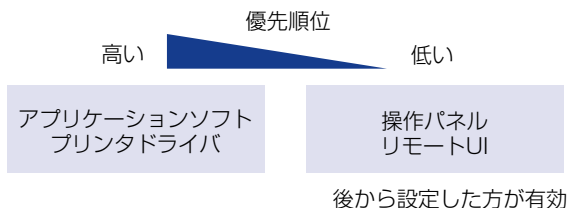
■「リモート UI」で設定する方法

操作パネルで行う設定の一部が、コンピュータ側から Web ブラウザを使用して行うことができます。

メモ

- 本書では、操作パネルでメニュー機能を設定する方法のみを説明しています。リモート UI で設定する方法については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- メニュー機能の設定内容は、通常は電源をオフにしても消えないメモリ（NVRAM）に登録されます。したがって、電源を入れなおしても、電源をオフにする前と同じ設定で起動します。

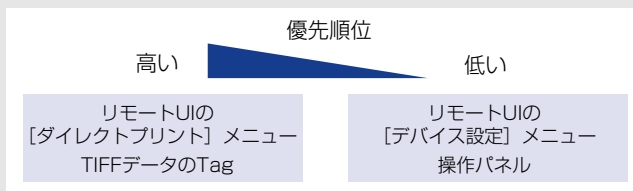
設定の優先順位

アプリケーションソフトやプリンタドライバと同じ項目をメニュー機能で設定しても、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定した内容のほうが有効になります。また、メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合と「リモート UI」で行う場合では、後から設定した内容が有効になります。

プリンタドライバやリモート UI は本プリンタに付属しています。操作については、「LIPS ソフトウェアガイド」およびプリンタドライバのヘルプおよび「リモート UI ガイド」を参照してください。

設定項目によっては、プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに有効になるものもあります。

● ダイレクトプリント時の設定の優先順位

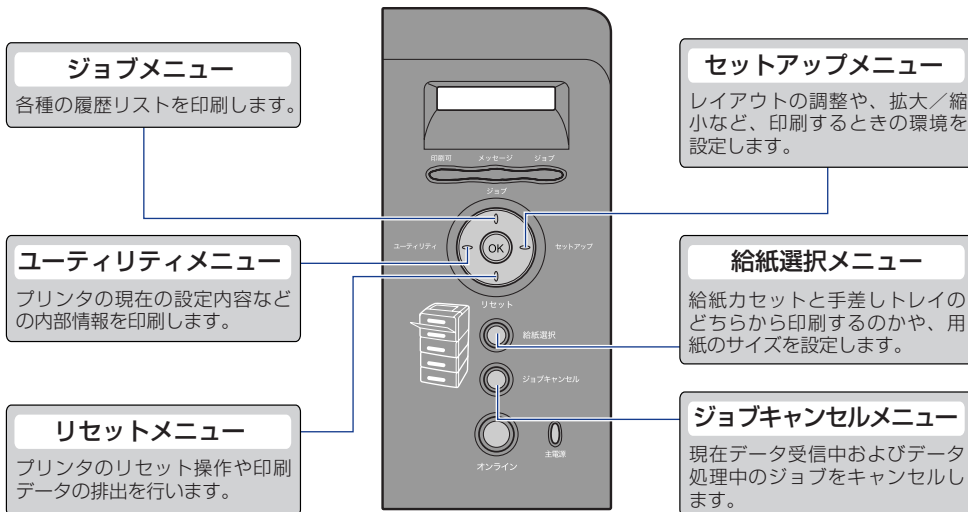
メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合とリモート UI の［デバイス設定］メニューで行う場合では、後から設定した方の内容が有効になります。

ダイレクトプリント時には、操作パネルやリモート UI の［デバイス設定］メニューで設定した内容よりもリモート UI の［ダイレクトプリント］メニューや画像ファイルの TIFF データのヘッダーが持つ IFD（Image file directory）の中にある Tag で設定されている内容が優先されます。

TIFF データのヘッダーが持つ一部の Tag の機能は有効にならない場合があります。

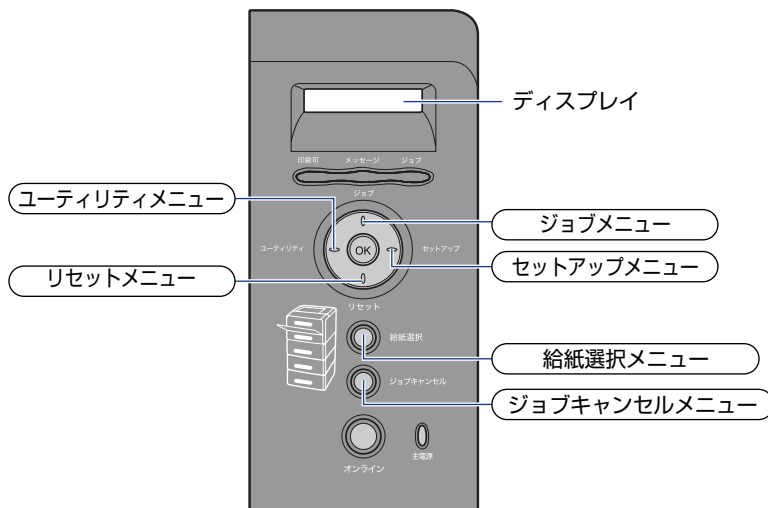
メニューの種類

メニューには、次の図で示した 6 種類があります。

各メニューの機能、構造、および操作の流れについては、「メニューの機能と操作」（➞P.2-1）を参照してください。

また、各メニューの内容については、「共通セットアップメニューの設定項目」（➞P.3-1）、「LIPS 専用セットアップメニューの設定項目」（➞P.4-1）、「ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目」（➞P.5-1）、「IMAGING 専用セットアップメニューの設定項目」（➞P.6-1）、「セットアップ以外のメニューの設定項目」（➞P.7-1）を参照してください。

操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下のキーを使います。

それらのうち、［セットアップ］、［ユーティリティ］、［ジョブ］、［リセット］、［ジョブキャンセル］、［給紙選択］には、メニューを表示する機能があります。

■ 各キーの機能は、次のとおりです。

<table>
<tr><th>キー</th><th colspan="3">機能</th></tr>
<tr><td>オンライン
（オンライン）</td><td colspan="3">オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。
本文中では［オンライン］と表記します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ジョブキャンセル
（ジョブキャンセル）</td><th>オンライン状態</th><th>オフライン状態</th><th>メニュー表示中</th></tr>
<tr><td colspan="2">ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。</td><td>動作しません。</td></tr>
<tr><td>給紙選択
（給紙選択）</td><td colspan="2">給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。</td><td>動作しません。</td></tr>
</table>

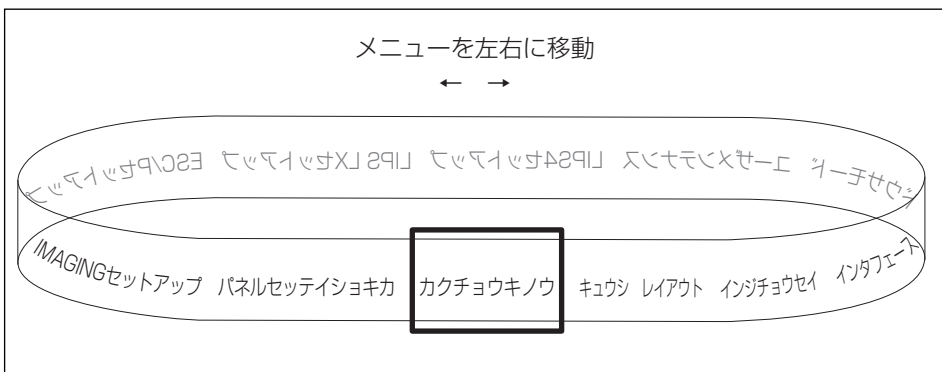
<table>
<tr><th rowspan="2">キー</th><th colspan="3">機能</th></tr>
<tr><th>オンライン状態</th><th>オフライン状態</th><th>メニュー表示中</th></tr>
<tr><td>（ユーティリティ）</td><td>ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。</td><td>動作しません。</td><td>同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◄］と表記します。</td></tr>
<tr><td>（ジョブ）</td><td>ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。</td><td>動作しません。</td><td>上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。</td></tr>
<tr><td>（リセット）</td><td colspan="2">リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。</td><td>選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［OK］と同じ動作をします。</td></tr>
<tr><td>（セットアップ）</td><td colspan="2">セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。ただし、オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。</td><td>同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［►］と表記します。</td></tr>
<tr><td>（OK）</td><td colspan="2">動作しません。</td><td>選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［OK］と表記します。［▼］と同じ動作をします。</td></tr>
</table>

ディスプレイの見かた

メニュー機能を設定するときの、プリンタのディスプレイに表示される内容について説明しています。

メニューの構造

メニューは下の図のように、1 つのつながった輪のような構造（ループ構造）になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されています。したがって、［◀］や［▶］を押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。

メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。

メニュー操作に入ることができる状態

各メニューには以下の状態から入ることができます。

○：メニューに入ることができる状態
×：メニューに入ることができない状態

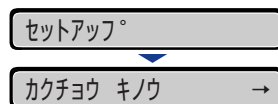
	印刷可能な状態 *1		エラー状態 *2
	オンライン状態	オフライン状態	
セットアップメニュー	○ *3	○	○
給紙選択メニュー	○	○	○
リセットメニュー	○	○	○ *4
ジョブメニュー	○	×	×
ユーティリティメニュー	○	×	×

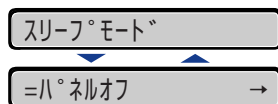
*1 印刷可能な状態とは、印刷可ランプが点灯している状態です。
*2 エラー状態とは、エラーランプが点灯している状態です。
*3 オンライン状態ではユーザメンテナンスグループの設定はできません。
*4「排出」を行うことはできません。

ディスプレイの見かた

ディスプレイの表示は 1 行（16 文字）です。

キーを押してメニューを表示したあと、自動的にそのメニューの最初の階層の項目が表示されます。

同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。

セットアップ゚
カクチョウ キノウ →

メニューの一番下の階層を表示したあと、何も操作を行わないと、自動的にひとつ上の階層の項目と現在選択されている階層の項目が、交互にディスプレイに表示されます。

現在設定されている設定値は、ディスプレイの左端に「＝」が表示されます。

メニューの機能と操作

この章では、各メニューの構造と操作パネルで印刷環境を設定する方法について説明しています。

共通セットアップメニューの機能と操作

共通セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

共通セットアップメニューの機能と構造

ここでは、共通セットアップメニューの機能とメニュー構造について説明します。

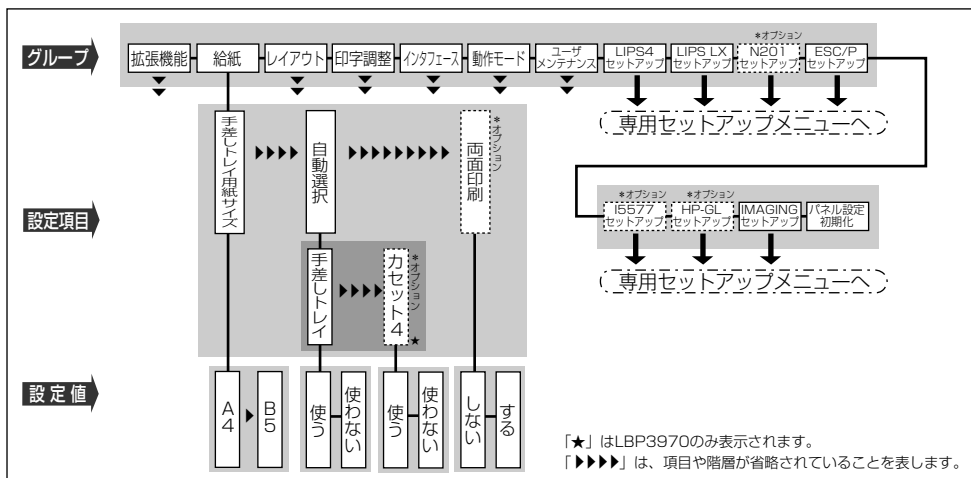
共通セットアップメニューの機能

共通セットアップメニューでは、印字する位置や、文字の種類、コンピュータと接続するときのインタフェースの選択などをはじめ、さまざまな印刷環境を設定することができます。

通常、印刷環境は、接続しているコンピュータのアプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できます。しかし、中にはインタフェースの設定など、プリンタの共通セットアップメニューでしか行えないものもあります。また、印刷条件を設定できないアプリケーションソフトや、MS-DOS のコマンドで直接印刷することもできますので、これらのコンピュータから印刷するときは、プリンタの共通セットアップメニューで印刷環境を設定します。

共通セットアップメニューの構造

共通セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。

グループの階層で「LIPS4 セットアップ」、「LIPS LX セットアップ」、「ESC/P セットアップ」、「IMAGING セットアップ」、オプションのコントロール ROM によるエミュレーションモードを選択すると、それぞれの専用セットアップメニューに移行します。

メモ

- 項目によっては、「給紙」グループの「自動選択」のように、設定項目の階層が 2 つに分かれているものがあります。
- 「パネル設定初期化」はグループの下の階層がありません。初期化の操作方法については、「セットアップメニューの初期化」（➞P.2-23）を参照してください。
- 点線枠の項目は、オプションのコントロール ROM やペーパーフィーダ、両面ユニットを装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。オプションエミュレーションの専用セットアップメニューについては、オプションのコントロール ROM の取扱説明書を参照してください。

共通セットアップメニューの操作の流れ

共通セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、給紙グループの「手差しトレイ用紙サイズ」の項目を「A3」に設定する手順を例に説明します。キー操作を 1 から順に行ってください。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す オンライン状態でもセットアップメニューを表示することはできますが、ユーザメンテナンスグループの設定はできません。
2 セットアップメニューを表示する セットアップ゜ ▼ カクチョウ　キノウ　→	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
3 グループを選択する 「給紙」グループを選択した場合 キュウシ　→	[◄] または [►] を押す 目的のグループが表示されます。
4 設定項目を表示する テサ゛シトレイ　ヨウシサイズ゛→	[OK] を押す 選択したグループの設定項目が表示されます。
5 設定項目を選択する 「手差しトレイ用紙サイズ」を選択した場合 テサ゛シトレイ　ヨウシサイズ゛→	[◄] または [►] を押す 目的の設定項目が表示されます。

6 設定値を表示する

=A4 →

[OK] を押す

選択した設定項目の設定値が表示されます。

7 設定値を選択する

「A3」を選択した場合

A3 →

[◄] または [►] を押す

目的の設定値が表示されます。

8 選択した値を確定する

[OK] を押す

9 オンライン状態に戻す

[オンライン] を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、印刷可能な状態のときです。印刷可能な状態とは、印刷可ランプが点灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止します。
- グループの階層で、「LIPS4 セットアップ」、「LIPS LX セットアップ」を選択した場合は「LIPS 専用セットアップメニューの機能と操作」（➞P.2-6）、「ESC/P セットアップ」を選択した場合は「ESC/P 専用セットアップメニューの機能と操作」（➞P.2-8）、「IMAGING セットアップ」を選択した場合は「IMAGING 専用セットアップメニューの機能と操作」（➞P.2-11）を参照してください。
- 項目によっては、設定項目の階層が 2 つの層に分かれている場合があります。

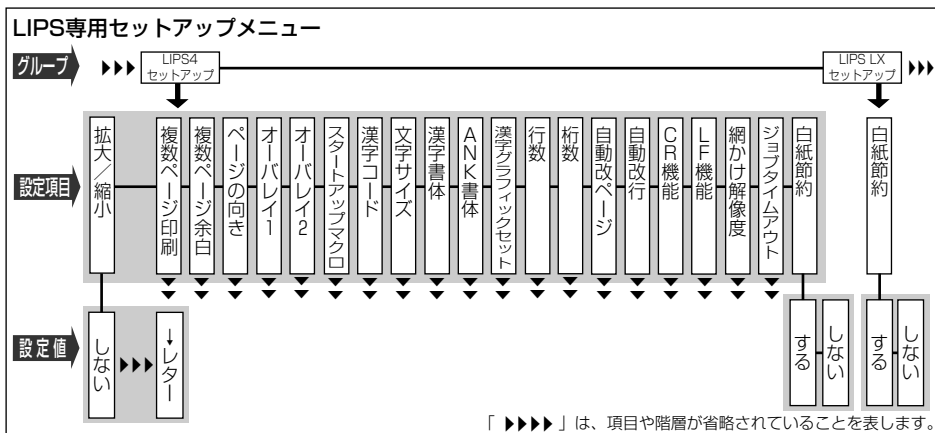
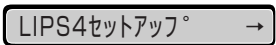
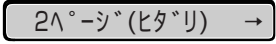
LIPS 専用セットアップメニューの機能と操作

LIPS 専用セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

メモ
- LIPS4 セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効になります。
- LIPS LX セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS LX を使用しているときのみ有効になります。

LIPS 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「LIPS4 セットアップ」または「LIPS LX セットアップ」を選択すると、LIPS 専用セットアップメニューに移行します。

LIPS 専用セットアップメニューは、「設定項目」と「設定値」の 2 つの階層に分かれていて、LIPS モードが動作した場合のみ有効な設定をすることができます。

LIPS 専用セットアップメニューの操作の流れ

LIPS 専用セットアップメニューは「設定項目」と「設定値」の 2 つの階層で、目的の項目を選択します。

ここでは、「LIPS4 セットアップ」の「複数ページ印刷」の項目を「2 ページ（左）」に設定する手順を例に説明します。キー操作を 1 から順に行ってください。

	操作の手順	キー操作
1	セットアップメニューを表示する セットアップ゜ カクチョウ キノウ →	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
2	グループで「LIPS4 セットアップ」を選択する LIPS4セットアップ゜ →	[◄] または [►] を押す 「LIPS4 セットアップ」が表示されます。
3	設定項目を表示する カクダイ/シュクショウ →	[OK] を押す LIPS4 セットアップの設定項目が表示されます。
4	設定項目を選択する 「複数ページ印刷」を選択した場合 フクスウページインサツ →	[◄] または [►] を押す 目的の設定項目が表示されます。
5	設定値を表示する =シナイ →	[OK] を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。
6	設定値を選択する 「2 ページ（左）」を選択した場合 2ページ(ヒダリ) →	[◄] または [►] を押す 目的の設定値が表示されます。
7	選択した値を確定する	[OK] を押す

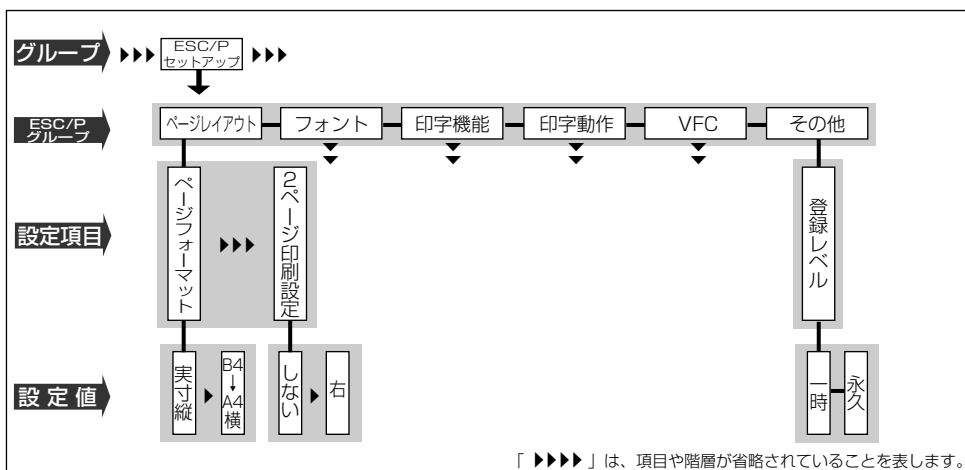
メモ
- 操作の途中で ［▲］ を押すと、 1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止します。

ESC/P 専用セットアップメニューの機能と操作

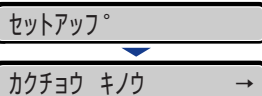
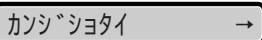
ESC/P 専用セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

ESC/P 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「ESC/P セットアップ」を選択すると、ESC/P 専用セットアップメニューに移行します。

ESC/P 専用セットアップメニューは、「ESC/P グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれていて、ESC/P エミュレーションモードが動作した場合のみ有効な設定をすることができます。

ESC/P 専用セットアップメニューの操作の流れ

ESC/P 専用セットアップメニューは、「ESC/P グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、フォントグループの「国別文字」の項目を「USA」に設定する手順を例に説明します。キー操作を 1 から順に行ってください。

操作の手順	キー操作
1 セットアップメニューを表示する セットアップ゜ カクチョウ キノウ →	**[セットアップ] を押す** セットアップメニューが表示されます。
2 グループで「ESC/P セットアップ」を選択する ESC/P セットアップ゜ →	**[◄] または [►] を押す** 「ESC/P セットアップ」が表示されます。
3 ESC/P グループを表示する ペ゜ージ゛レイアウト →	**[OK] を押す** ESC/P グループが表示されます。
4 ESC/P グループを選択する 「フォント」グループを選択した場合 フォント →	**[◄] または [►] を押す** 目的の ESC/P グループが表示されます。
5 設定項目を表示する カンシ゛ショタイ →	**[OK] を押す** 選択した ESC/P グループの設定項目が表示されます。
6 設定項目を選択する 「国別文字」を選択した場合 クニベ゛ツモジ゛ →	**[◄] または [►] を押す** 目的の設定項目が表示されます。
7 設定値を表示する =ニホン →	**[OK] を押す** 選択した設定項目の設定値が表示されます。

8 **設定値を選択する**

「USA」を選択した場合

USA →

［◄］または［►］を押す

目的の設定値が表示されます。

9 **選択した値を確定する**

[OK]を押す

メモ

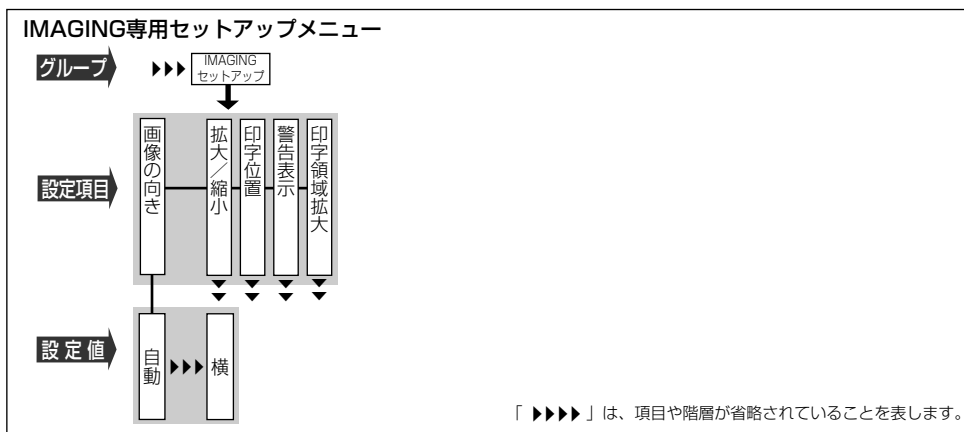
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止します。

IMAGING専用セットアップメニューの機能と操作

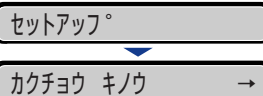
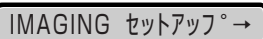
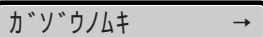
IMAGING 専用セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

IMAGING 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「IMAGING セットアップ」を選択すると、IMAGING 専用セットアップメニューに移行します。

IMAGING 専用セットアップメニューは「設定項目」と「設定値」2 つの階層に分かれていて、TIFF/JPEG 形式の画像ファイルをダイレクトプリントするときの設定を行うことができます。

IMAGING 専用セットアップメニューの操作の流れ

IMAGING 専用セットアップメニューは「設定項目」と「設定値」の 2 つの階層で、目的の項目を選択します。

ここでは、「印字位置」の項目を「ヒダリウエ」に設定する手順を例に説明します。キー操作を 1 から順に行ってください。

操作の手順	キー操作
1 セットアップメニューを表示する セットアップ カクチョウ キノウ →	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
2 グループで「IMAGING セットアップ」を選択する IMAGING セットアップ →	[◄] または [►] を押す 「IMAGING セットアップ」が表示されます。
3 設定項目を表示する ガゾウノムキ →	[OK] を押す IMAGING セットアップの設定項目が表示されます。
4 設定項目を選択する 「印字位置」を選択した場合 インジイチ →	[◄] または [►] を押す 目的の設定項目が表示されます。
5 設定値を表示する =ジドウ →	[OK] を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。
6 設定値を選択する 「ヒダリウエ」を選択した場合 ヒダリウエ →	[◄] または [►] を押す 目的の設定値が表示されます。
7 選択した値を確定する	[OK] を押す

メモ
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止します。

ユーティリティメニューの機能と操作

ユーティリティメニューの概要と操作手順について説明しています。

ユーティリティメニューの機能と構造

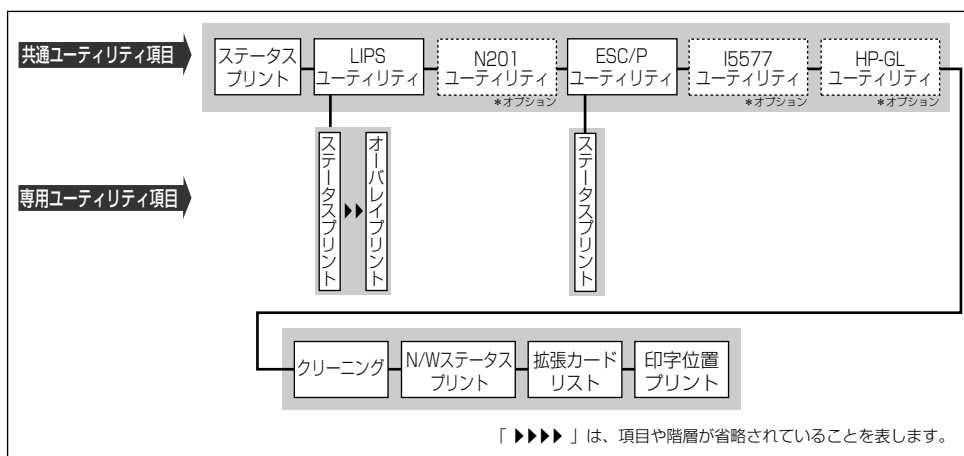
ここでは、ユーティリティメニューの機能とメニュー構造について説明します。

ユーティリティメニューの機能

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容を印刷したり、クリーニングを行うことができます。

詳しい項目の内容については「ユーティリティメニューの設定項目」（→P.7-4）を参照してください。

ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューは、LIPS、ESC/P、オプションのエミュレーションなどの各動作モードに共通して選択できる「共通ユーティリティ項目」と、動作モードごとに選択する「専用ユーティリティ項目」の２つの階層に分かれています。

メモ　点線枠の項目は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。

ユーティリティメニューの操作の流れ

ユーティリティメニューは、「共通ユーティリティ項目」と「専用ユーティリティ項目」の２つの階層で目的の項目を選択します。専用ユーティリティ項目は、共通ユーティリティ項目の階層で「LIPS ユーティリティ」、「ESC/P ユーティリティ」のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。

ここでは、「LIPS ユーティリティ」の「フォント　リスト」を印刷する手順を例に説明します。キー操作を１から順に行ってください。

	操作の手順	キー操作
1	オンライン状態になっていることを確認する	オンライン状態になっていない場合、[オンライン] を押す
2	ユーティリティメニューを表示する ユーティリティ ステータスプリント →	[ユーティリティ] を押す ユーティリティメニューが表示されます。
3	共通ユーティリティ項目を選択する 「LIPS ユーティリティ」を選択した場合 LIPS ユーティリティ →	[◄] または [►] を押す 目的の共通ユーティリティ項目が表示されます。
4	専用ユーティリティ項目を表示する ステータスプリント →	[OK] を押す 専用ユーティリティ項目が表示されます。
5	専用ユーティリティ項目を選択する 「フォント　リスト」を選択した場合 フォント リスト →	[◄] または [►] を押す 目的の専用ユーティリティ項目が表示されます。
6	選択した項目を確定する	[OK] を押す フォントリストが印刷されます。

メモ

- 専用ユーティリティ項目（LIPS ユーティリティなど）を選択しなかった場合は、操作の手順４～５の設定はありません。
- 操作の途中で［▲］を押すと、１つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止します。
- LIPS のオーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリントは、データが登録されている場合のみ印刷されます。データが登録されていない場合は印刷されず、そのまま終了します。

ジョブメニューの機能と操作

ジョブメニューの概要と操作手順について説明しています。

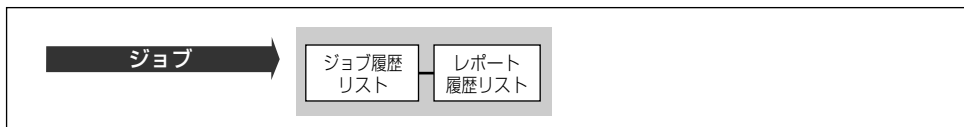
ジョブメニューの機能と構造

ここではジョブメニューの機能とメニュー構造について説明します。

ジョブメニューの機能

ジョブメニューでは、各種の履歴リストを印刷することができます。
詳しい項目の内容については「ジョブメニューの設定項目」(→P.7-8) を参照してください。

ジョブメニューの構造

ジョブメニューの階層は 1 つです。

ジョブメニューの操作の流れ

ここでは、「ジョブ履歴リスト」を印刷する手順を説明します。キー操作を 1 から順に行ってください。

	操作の手順	キー操作
1	オンライン状態になっていることを確認する	オンライン状態になっていない場合、[オンライン］を押す
2	ジョブメニューを表示する ｼﾞｮﾌﾞ ｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷﾘｽﾄ →	[ジョブ］を押す ジョブメニューが表示されます。
3	印刷したい項目を選択する 「ジョブ履歴リスト」を選択した場合 ｼﾞｮﾌﾞﾘﾚｷﾘｽﾄ →	[◄］または［►］を押す 目的の項目が表示されます。
4	「ジョブ履歴リスト」を印刷する	[OK］を押す ジョブ履歴リストが印刷されます。

メモ　操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止します。

リセットメニューの機能と操作

リセットメニューの概要と操作手順について説明しています。

リセットメニューの機能と構造

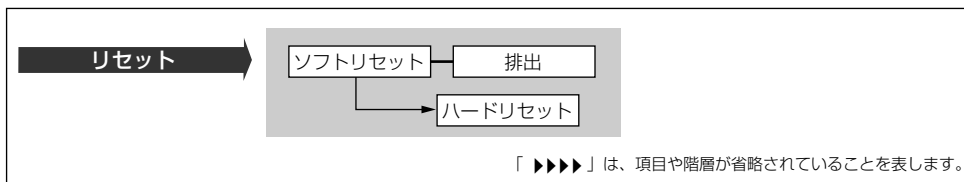
ここではリセットメニューの機能とメニュー構造について説明します。

リセットメニューの機能

リセットメニューでは、プリンタのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンタに残っている印刷データを排出することができます。

詳しい項目の内容については「リセットメニューの設定項目」（→P.7-9）を参照してください。

リセットメニューの構造

リセットメニューの階層は次のようになっています。

メモ　「ハード　リセット」は、ディスプレイに「ソフト　リセット」と表示されている状態で、［OK］を 3 秒以上押すと表示されます。

リセットメニューの操作の流れ

ここでは、「ソフト　リセット」を実行する手順を例に説明します。キー操作を 1 から順に行ってください。

操作の手順	キー操作
1 リセットメニューを表示する	［リセット］を押す リセットメニューが表示されます。

2 **実行したい項目を選択する**

「ソフト　リセット」を選択した場合

ソフト　リセット →

[◄］または［►］を押す

目的の項目が表示されます。

3 **選択した項目を確定する**

[OK］を押す

ソフトリセットが実行されます。

ジョブキャンセルメニューの機能と操作

ジョブキャンセルメニューの概要と操作手順について説明しています。

ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューを使うと、データ受信中およびデータ処理中のジョブだけをキャンセルすることができます。

キャンセルしたいジョブの処理中に操作パネルの［ジョブキャンセル］を押し、［OK］を押すと、ジョブキャンセル処理が開始されます。

重要

- ジョブキャンセルは、データ処理をしているとき（ジョブランプ点灯または点滅中）に行ってください。ジョブランプが消灯しているときに［ジョブキャンセル］を押してもジョブキャンセルは行われません。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中（給紙動作が始まった状態）のデータは、キャンセルできません。その場合、その次の印刷データがキャンセルされることがあります。
- 本プリンタ専用でないプリンタドライバから送信された印刷データが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。

メモ

ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされないことがあります。

ジョブキャンセルメニューの操作の流れ

キャンセルしたいジョブの処理中に操作パネルの［ジョブキャンセル］を押し、［OK］を押すと、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、ジョブキャンセル処理が開始されます。キー操作を 1 から順に行ってください。

操作の手順	キー操作
1 ジョブの処理中にジョブをキャンセルする キャンセル ジッコウ?	［ジョブキャンセル］を押す
2 ジョブキャンセルを実行する 03 ジョブ キャンセル	［OK］を押す ［OK］を押すとジョブキャンセルが開始されます。ジョブキャンセルを実行しない場合は、［OK］以外のキーを押します。ジョブのキャンセル処理が終了すると、印刷可能な状態に戻ります。

給紙選択メニューの機能と操作

給紙選択メニューの概要と操作手順について説明しています。

給紙選択メニューの機能と構造

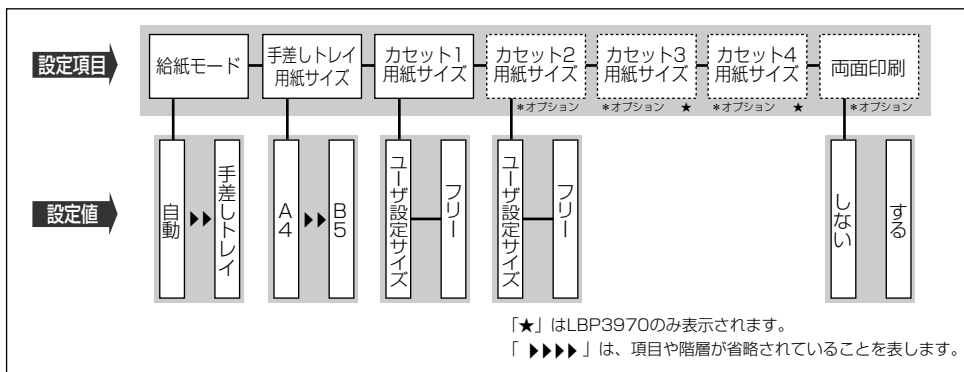
ここでは、給紙選択メニューの機能とメニュー構造について説明します。

給紙選択メニューの機能

給紙選択メニューでは、どの給紙カセットまたは手差しトレイの用紙を使って印刷するかや、手差しトレイの用紙サイズなどを選択できます。給紙元を選択した場合は、選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

詳しい項目の内容については「給紙選択メニューの設定項目」（→P.7-11）を参照してください。

給紙選択メニューの構造

給紙選択メニューの階層は 2 つの階層に分かれています。

メモ

- 手差しトレイ用紙サイズ、カセット N（N=1、2、3、4）用紙サイズ、両面印刷については、セットアップメニューの給紙グループでも同様の設定ができます。
- 点線枠の項目は、オプションのペーパーフィーダや両面ユニットを装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。

給紙選択メニューの操作の流れ

給紙選択メニューは、「設定項目」と「設定値」の２つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、「手差しトレイ用紙サイズ」の項目を「B5」に設定する手順を例に説明します。キー操作を１から順に行ってください。

操作の手順	キー操作
1 給紙選択メニューを表示する キュウシ モード　→	[給紙選択] を押す 給紙選択メニューが表示されます。
2 設定項目を選択する 「手差しトレイ用紙サイズ」を選択した場合 テサ゛シトレイ ヨウシサイス゛→	[◄] または [►] を押す 目的の設定項目が表示されます。
3 設定値を表示する =A4　→	[OK] を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。
4 設定値を選択する 「B5」を選択した場合 B5　→	[◄] または [►] を押す 目的の設定値が表示されます。
5 選択した値を確定する	[OK] を押す

セットアップメニューの初期化

セットアップメニューの初期化の概要と操作手順について説明しています。

セットアップメニューの初期化の機能

セットアップメニューを初期化すると、共通セットアップメニューや専用セットアップメニューで設定した内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

セットアップメニュー初期化の操作の流れ

初期化は、セットアップメニューの「グループ」の階層で「パネル設定初期化」の項目を選択して行います。キー操作を 1 から順に行ってください。

操作の手順	キー操作
1 セットアップメニューを表示する セットアップ゜ カクチョウ キノウ →	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
2 グループで「パネル設定初期化」を選択する ハ゜ネル セッテイ ショキカ →	[◄] または [►] を押す
3 初期化を実行する シ゛ッコウ シマスカ?	[OK] を押す 確認メッセージが表示されます。
4 メッセージを確認後、実行する	[OK] を押す 初期化の実行中は「ショキカ　チュウ」が表示されます。終了すると、「ショキカ　シュウリョウ」が表示されます。

重要

- パネル設定初期化の実行時に、「ショキカ　デキマセンデシタ」と表示された場合は、初期化は行われていません。
- 初期化の実行中に電源をオフしないでください。プリンタのメモリが故障することがあります。

- 一部の設定項目は、初期化後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効になりません。

メモ

- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止します。ただし、ディスプレイに「ショキカ　チュウ」と表示されているときは、［オンライン］を押しても操作は中止できません。
- 共通セットアップメニューのユーザメンテナンスグループの「印字位置調整」とインタフェースグループの「標準ネットワーク」の項目は初期化されません。

共通セットアップメニューの設定項目

3
CHAPTER

この章では、共通セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

共通セットアップメニュー設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目や設定値は、オプション品の有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 「★」印が付いている項目や設定値は、LBP3970 のみ表示されます。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ 拡張機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
スリープモード	**ツカウ**、ツカワナイ、パネルオフ	P.3-9
エラースリープ	**スル**、シナイ	P.3-10
スリープ移行時間	**5 フン**、15 フン、30 プン、60 プン、180 プン	P.3-10
警告処理	トナー交換予告：**ケイゾク**、テイシ	P.3-10
自動エラースキップ	**シナイ**、スル	P.3-11
表示言語	**ニホンゴ**、ENGLISH	P.3-11
ブザー	**1 カイ**、レンゾク	P.3-11
警告表示	トナー交換予告：**スル**、シナイ カセット用紙なし：**スル**、シナイ	P.3-12
日付／時刻設定	日付：2001/01/01 ～ 2089/12/31 時刻（24 時間）：00:00:00 ～ 23:59:59	P.3-12
タイマー設定		
ウェイクアップタイマー	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-13
ウェイクアップ時刻	00:00 ～ 23:59	P.3-13
スリープタイマー	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-13
スリープ時刻	00:00 ～ 23:59	P.3-14
ディープス リープタイマー	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-14
ディープスリープ時刻	00:00 ～ 23:59	P.3-14

■ 給紙グループ

設定項目	設定値	参照ページ
手差しトレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、レター、レター R、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、フリー、ユーザセッテイサイズ、ユーザセッテイサイズ R、ハガキ、オウフク　ハガキ、4 メン　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5	P.3-15
カセット N（N=1、2、3★、4★）用紙サイズ *	**ユーザセッテイサイズ**、ユーザセッテイサイズ R、フリー	P.3-16
デフォルト用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、レター、レター R、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、ハガキ、オウフク　ハガキ、4 メン　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5	P.3-16
手差しトレイ優先	**シナイ**、スル	P.3-17
用紙不一致時トレイ	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-17
自動選択	手差しトレイ：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 1：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 2*：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 3*★：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 4*★：**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-18
デフォルト用紙タイプ	**フツウシ**、フツウシ L、フツウシ H、アツガミ L、アツガミ H、OHP フィルム、ハガキ、フウトウ、ラベルヨウシ	P.3-18
両面印刷 *	**シナイ**、スル	P.3-19

■ レイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
コピー枚数	**1**～9999	P.3-20
縦位置補正	-50.0 ～ **0.0** ～ 50.0（mm）	P.3-20
横位置補正	-50.0 ～ **0.0** ～ 50.0（mm）	P.3-20
とじ方向	**チョウヘントジ**、タンペントジ	P.3-21
とじしろ	-50.0 ～ **0.0** ～ 50.0（mm）	P.3-22
特殊両面処理 *	**スル**、シナイ	P.3-24

■ 印字調整グループ

設定項目	設定値	参照ページ
スーパースムーズ	**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-25
階調処理	**ヒョウジュン**、コウカイチョウ	P.3-25

設定項目	設定値	参照ページ
ドラフトモード	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-25
トナー濃度	1 ～ **4** ～ 16	P.3-26
中間調選択	テキスト：**コウカイゾウド**、カイゾウド、カイチョウ、シキチョウ グラフィックス：**カイチョウ**、シキチョウ、コウカイゾウド、カイゾウド イメージ：**シキチョウ**、コウカイゾウド、カイゾウド、カイチョウ	P.3-26
画質警告	**ケイゾク**、テイシ	P.3-27

■ インタフェースグループ

設定項目	設定値	参照ページ
インタフェース選択	USB：**ツカウ**、ツカワナイ ネットワーク：**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-28
タイムアウト	5 ～ **15** ～ 300 ビョウ、シナイ	P.3-28
標準ネットワーク ＊		

設定項目	設定値	参照ページ
TCP/IP 設定	IP モード： 　**シュドウ**、ジドウ プロトコル*： 　DHCP........................ **オフ**、オン 　BOOTP...................... **オフ**、オン 　RARP .... **オフ**、オン アドレス： 　IP アドレス .... **0.0.0.0** 　サブネットマスク .... **0.0.0.0** 　ゲートウェイアドレス .. **0.0.0.0** DNS： 　プライマリアドレス ..... **0.0.0.0** 　セカンダリアドレス ..... **0.0.0.0** WINS： 　**オフ**、オン ARP/PING： 　**オン**、オフ FTP： 　FTP 印刷 .... **オン**、オフ 　FTP 設定 .... **オン**、オフ LPD 印刷： 　**オン**、オフ RAW 印刷： 　**オン**、オフ BMLinkS： 　**ツカワナイ**、ツカウ IPP 印刷： 　**オン**、オフ HTTP： 　**オン**、オフ SNTP： 　**オフ**、オン 探索応答： 　**オン**、オフ IP アドレス範囲設定： 　受信／印刷拒否............ **シナイ**、スル 　拒否アドレス設定 *........ 拒否 IP アドレス 1 ～ 8 　受信／印刷許可............ **シナイ**、スル 　許可アドレス設定 *........ 許可 IP アドレス 1 ～ 8 　設定／参照拒否............ **シナイ**、スル 　拒否アドレス設定 *........ 拒否 IP アドレス 1 ～ 8 　設定／参照許可............ **シナイ**、スル 　許可アドレス設定 *........ 許可 IP アドレス 1 ～ 8 MAC アドレス設定： 　受信許可 .... **シナイ**、スル 　許可アドレス設定 *.........許可 MAC アドレス 1 ～ 50	P.3-29
AppleTalk	**オフ**、オン	P.3-30
SMB	SMB サーバ： 　**オフ**、オン	P.3-30
SNMP	**オン**、オフ	P.3-30

設定項目	設定値	参照ページ
起動待機時間	**0** ～ 300 ビョウ	P.3-31
リモート UI 設定	リモート UI： **オン**、オフ	P.3-31
ETHERNET ドライバ	自動検出： **オン**、オフ 通信方式 *： **ハン 2 ジュウ**、ゼン 2 ジュウ ETHERNET 種類 *： **10 BASE-T**、100 BASE-TX MAC アドレス： （表示のみ）	P.3-31
ネットワーク設定初期化	－	P.3-31
拡張カード	－	P.3-32
コネクション認識	**スル**、シナイ	P.3-32
拡張受信バッファ *	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-32

■ 動作モードグループ

設定項目	設定値	参照ページ
動作モード選択	**ジドウ　センタク**、LIPS、N201*、ESC/P、I5577*、HP-GL*、HEX-DUMP、LIPS-DUMP	P.3-33
自動切り替え	LIPS：**ツカウ**、ツカワナイ N201*：**ツカウ**、ツカワナイ ESC/P：**ツカウ**、ツカワナイ I5577*：**ツカウ**、ツカワナイ HP-GL*：**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-36
優先エミュレーション	**ナシ**、LIPS、N201*、ESC/P、I5577*、HP-GL*	P.3-36

■ ユーザメンテナンスグループ

設定項目	設定値	参照ページ
印字位置調整	縦位置補正（トレイ）：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（トレイ）：-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（カセット 1）：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（カセット 1）：-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（カセット 2）*：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（カセット 2）*：-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（カセット 3）*★：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（カセット 3）*★：-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（カセット 4）*★：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（カセット 4）*★：-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm） 縦位置補正（両面）*：-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm） 横位置補正（両面）*：-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm）	P.3-37
リカバリ印刷	**スル**、シナイ	P.3-38
特殊モード J	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-38
用紙サイズ置換	**シナイ**、スル	P.3-39
画像特殊処理	**モード 1**、モード 2、モード 3	P.3-39
うねり特殊処理	**シナイ**、スル	P.3-39
ファームウェア更新		
USB	–	P.3-40
標準ネットワーク	–	P.3-40

拡張機能グループの設定項目

拡張機能グループでは、プリンタにエラーが発生したときの動作などについて設定できます。

スリープモード

ツカウ、ツカワナイ、パネルオフ

スリープモードを使用するかどうかを設定します。

スリープモードには３種類あり、本項目の設定によって移行するスリープモードが変わります。

本項目の設定	移行可能なスリープモード
パネルオフ	スリープモード１（パネルオフモード）
ツカウ	スリープモード１（パネルオフモード） スリープモード２（プリンタスリープモード） スリープモード３（ディープスリープモード）
ツカワナイ	移行しません＊

＊　本項目を「ツカワナイ」に設定している場合でも、リモートUI の［デバイス管理］→［状態］→［デバイス制御］で、［ディープスリープ］を実行した場合は、スリープモード３（ディープスリープモード）に移行します。

スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。スリープモード中は、ディスプレイの表示が消え、次のランプが点灯します。

本項目の設定	点灯するランプ
スリープモード１ （パネルオフモード）	オンライン状態：印刷可ランプと主電源ランプ オフライン状態：メッセージランプと主電源ランプ
スリープモード２ （プリンタスリープモード）	オンライン状態：印刷可ランプと主電源ランプ オフライン状態：メッセージランプと主電源ランプ
スリープモード３ （ディープスリープモード）	主電源ランプ

メモ

- スリープモードの詳細については、ユーザーズガイド「第２章プリンタの使いかた」を参照してください。
- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときに、スリープモードに移行するかどうかを設定することができます。（→エラースリープ：次項目）

エラースリープ

スル、シナイ

プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときに、スリープモードに移行するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、プリンタがエラー状態のときでもスリープモードに移行します。

「シナイ」に設定すると、プリンタがエラー状態の時はスリープモードに移行しません。

スリープ移行時間

5 フン、15 フン、30 プン、60 プン、180 プン

スリープモードに移行するまでの時間を設定します。

メモ　次のような状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードに移行しません。
- プリンタにエラーが発生（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅）していて、「エラースリープ」（→前項目）を「シナイ」に設定している
- プリンタの起動中

警告処理

トナー交換予告 .... **ケイゾク**、テイシ

以下の警告メッセージが表示されたときに、印刷を継続するか停止するかを設定します。

警告メッセージ	プリンタの状態
「16　トナー　ヨウイ」	トナー残量が少なくなってきている

「ケイゾク」に設定すると、上記のメッセージを表示しながら印刷を継続します。
「テイシ」に設定すると、印刷を停止します。その後、表示されたメッセージにしたがって警告状態を解除すると、印刷が再開されます。

メモ
- 「16　トナー　カクニン」が表示され印刷が中断した場合は、トナーカートリッジを交換したあと、再度印刷を行ってください。
- 本項目を「テイシ」にした場合、「16　トナー　ヨウイ」は「16　トナー　カクニン」という表示に変わり印刷が停止します。

自動エラースキップ

シナイ、スル

エラーが起きたときに、エラーを一時的に解除して印刷を続ける機能（エラースキップ）を、自動的に使うかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、［オンライン］を押してエラースキップさせる必要があります。

「スル」に設定すると、［オンライン］を押さなくても自動的にエラースキップされます。

メモ
- エラースキップとはあくまでエラーを一時的に解除するものです。したがって、正しく印刷されないことがあります。
- 自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、ユーザーズガイド「第5章困ったときには」を参照してください。
- 本項目を「スル」に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、自動エラースキップ可能なエラーはすべて自動的にエラースキップします。

表示言語

ニホンゴ、ENGLISH

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

メモ
ENGLISH 表示の場合のメニュールートマップはありません。

ブザー

1カイ、レンゾク

エラーが発生した場合に、ブザー音が1回だけ鳴るのか、連続して鳴るのか設定します。連続して鳴るように設定した場合は、エラーを解除するか操作パネルのいずれかのキーを押すと止まります。

メモ
エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに［オンライン］を押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。

警告表示

トナー交換予告 .... スル、シナイ
カセット用紙なし......................... スル、シナイ

印刷に支障はないが何らかの処置が必要な状態のことを警告状態と呼びます。プリンタがこの警告状態になると、ディスプレイにメッセージが表示されたり、ランプが点滅したりします。

本項目では、次の警告状態のときにメッセージの表示やランプの点滅をさせるかどうかを設定します。

本項目の設定	状態	メッセージ／ランプ点滅
トナー交換予告	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	16　トナー　ヨウイ
カセット用紙なし	給紙カセットの用紙がなくなったとき	用紙がなくなった給紙段の給紙元表示ランプ点滅

メモ　本項目を「スル」、「シナイ」のどちらに設定しても、印刷は行われます。

日付／時刻設定

日付... 2001/01/01 ～ 2089/12/31
時刻（24 時間）..........................00:00:00 ～ 23:59:59

本プリンタには時計機能が内蔵されています。この時計はプリンタのメンテナンスや履歴の管理に使用されます。日付や時間が合っていないときに、本項目で設定します。

メモ

- 日付と時刻は工場出荷時に合わせられています。
- 本プリンタに内蔵されている時計の精度は、月差± 60 秒です。定期的に本項目で時刻を合わせてください。
- 日付と時刻は、操作パネルの以下のキーを使って入力します。
  - ・数字の増減... [▲] [▼]
  - ・桁の移動.. [◄] [►]
  - ・入力した日付または時間の決定 .... [OK]
- 日付と時刻の変更を行わない場合は、［オンライン］を押します。

タイマー設定

■ ウェイクアップタイマー

ツカワナイ、ツカウ

スリープモード（パネルオフモード、プリンタスリープモード、ディープスリープモード）を解除するウェイクアップ機能を使用するかどうかを設定します。

「ツカウ」に設定すると、「ウェイクアップ時刻」（→次項目）で設定した時刻にスリープモード（パネルオフモード、プリンタスリープモード、ディープスリープモード）を解除します。

「ツカワナイ」に設定すると、ウェイクアップ機能を使用しません。

メモ　ウェイクアップ機能は、スリープモード（パネルオフモード、プリンタスリープモード、ディープスリープモード）を解除するためのものです。プリンタの電源がオフの場合、ウェイクアップ機能は動作しません。

■ ウェイクアップ時刻

00:00 ～ 23:59

「ウェイクアップタイマー」（→前項目）を「ツカウ」に設定したときに、本項目で設定した時刻になるとスリープモード（パネルオフモード、プリンタスリープモード、ディープスリープモード）を解除します。

毎日同じ時刻にプリンタのスリープモード（パネルオフモード、プリンタスリープモード、ディープスリープモード）を解除したい場合に便利です。

■ スリープタイマー

ツカワナイ、ツカウ

「スリープ時刻」（→次項目）で設定した時間になったときに、スリープモード 1（パネルオフモード）に移行するかどうかを設定します。

「ツカウ」に設定すると、「スリープ時刻」で設定した時刻にスリープモード 1（パネルオフモード）に移行します。

「ツカワナイ」に設定すると、「スリープ時刻」で設定した時刻になってもスリープモード 1（パネルオフモード）に移行しません。

スリープモード中は、ディスプレイの表示が消え、次のランプが点灯します。

プリンタの状態	点灯するランプ
オンライン状態	印刷可ランプ
オフライン状態	メッセージランプ

メモ

- 本プリンタには、スリープモード１（パネルオフモード）のほかにスリープモード2（プリンタスリープモード）とスリープモード３（ディープスリープモード）があります。スリープモードの詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章プリンタの使いかた」を参照してください。
- 「スリープ時刻」で設定した時刻になっても、プリンタがジョブ中の場合は、スリープモード１（パネルオフモード）に移行しません。
- プリンタがエラー状態（メッセージランプが点灯またはメッセージの数字部分が点滅状態）のときに、スリープモードに移行するかどうかを設定することができます。（➞ エラースリープ：P.3-10）

■ スリープ時刻

00:00 ～ 23:59

「スリープタイマー」（➞前項目）を「ツカウ」に設定したときに、本項目で設定した時刻になるとスリープモード１（パネルオフモード）に移行します。

毎日同じ時刻にプリンタをスリープモード１（パネルオフモード）にしたい場合に便利です。

■ ディープスリープタイマー

ツカワナイ、ツカウ

「ディープスリープ時刻」（➞次項目）で設定した時間になったときに、スリープモード３（ディープスリープモード）に移行するかどうかを設定します。

「ツカウ」に設定すると、「ディープスリープ時刻」で設定した時刻にスリープモード３（ディープスリープモード）に移行します。

「ツカワナイ」に設定すると、「ディープスリープ時刻」で設定した時刻になってもスリープモード３（ディープスリープモード）に移行しません。

スリープモード３（ディープスリープモード）は、スリープモードの中で最も節電効果が高いモードです。

メモ

スリープモードの詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章プリンタの使いかた」を参照してください。

■ ディープスリープ時刻

00:00 ～ 23:59

「ディープスリープタイマー」（➞前項目）を「ツカウ」に設定したときに、本項目で設定した時刻になるとスリープモード３（ディープスリープモード）に移行します。

毎日同じ時刻にプリンタをスリープモード３（ディープスリープモード）にしたい場合に便利です。

メモ

スリープモードの詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章プリンタの使いかた」を参照してください。

給紙グループの設定項目

給紙グループでは、手差しトレイや給紙カセットから印刷するときの用紙サイズなどについて設定できます。

手差しトレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、レター、レターR、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、フリー、ユーザセッテイサイズ、ユーザセッテイサイズ R、ハガキ、オウフク　ハガキ、4 メン　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5

手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。

重要

- 手差しトレイにセットする用紙を頻繁に変更する場合は、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、異なるサイズの用紙をセットするたびに「手差しトレイ用紙サイズ」の設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、手差しトレイにセットした用紙と、プリンタドライバの用紙サイズの設定が必ず合っていることを確認してから印刷してください。異なっている場合は、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示されて印刷が中断されたり、紙づまりが発生したりすることがあります。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズと手差しトレイにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。ただし、「特殊モード J」(→P.3-38) を「ツカウ」に設定した場合、プリンタドライバで設定した用紙サイズと手差しトレイにセットした用紙が異なる場合でも用紙サイズのチェックを行わずに印刷します。
- ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LX プリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が 312.0mm 以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

メモ

- 「ユーザセッテイサイズ」、「ユーザセッテイサイズ R」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定して印刷したいときに選択します。印刷中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、[オンライン] を押してエラーを解除して印刷してください。
- 「フウトウ　Y4」は洋形 4 号に、「フウトウ　Y2」は洋形 2 号に、「フウトウ　K2」は角形 2 号に対応していますが、種類によっては印刷できないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から 10mm 内側までとなります。封筒に印刷した場合、郵便番号欄の文字が欠けて印刷される場合があります。このような場合は、LIPS プリンタドライバの [仕上げ詳細] ダイアログボックスで [印字領域を広げて印刷する] にチェックマークを付けることで、文字が欠けずに印刷することができます。
- 「オウフク　ハガキ」の有効印字領域は、往復はがきを広げた状態で、上下左右の用紙端から 5mm 内側までとなります。(LIPS プリンタドライバの [仕上げ詳細] で「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、有効印字領域を用紙の端近くまで広げることができます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。)
- 給紙選択メニューの「手差しトレイ用紙サイズ」でも同様の設定ができます (→P.7-12)。

カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ

ユーザセッテイサイズ、ユーザセッテイサイズR、フリー

* 「カセット1用紙サイズ」は、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

* 「カセット2用紙サイズ」は、オプションのペーパーフィーダが装着されていて、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

* 「カセット3用紙サイズ」、「カセット4用紙サイズ」は、LBP3970にオプションのペーパーフィーダが装着されていて、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

給紙カセット（カセット1、2、3、4）にセットした用紙サイズを設定します。

重要

- カセットにセットするユーザ設定用紙の向きを頻繁に変更する場合は、「カセット　N（N=1、2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると便利です。「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定すると、用紙の向きを変更するたびに「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」の設定を変更する必要がありません。ただし、「フリー」に設定する場合は、カセットにセットした用紙と、プリンタドライバの用紙サイズの設定が必ず合っていることを確認してから印刷してください。異なっている場合は、「41　ヨウシサイズ　カクニン」のメッセージが表示されて印刷が中断されたり、紙づまりが発生したりすることがあります。必ずプリンタドライバで設定した用紙サイズとカセットにセットした用紙が合っているか、確認してお使いください。
- ユーザ設定用紙を印刷する場合に、LIPS LXプリンタドライバから印刷するときは、縦置き、横置きにセットすることが可能です。ただし、「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」を「フリー」に設定している場合に、長辺が297.0mm以下のユーザ設定用紙を印刷するときは、横置きにセットしてください。また、LIPS LX プリンタドライバから印刷しない場合は、縦置きにセットしてください。

メモ

- 「ユーザセッテイサイズ」、「ユーザセッテイサイズR」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定して印刷したいときに選択します。印刷中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除して印刷してください。
- 給紙選択メニューの「カセットN（N=1、2、3、4）用紙サイズ」でも同様の設定ができます（→P.7-12）。

デフォルト用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、レター、レターR、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、ハガキ、オウフク　ハガキ、4メン　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できない場合など、プリンタが処理を行う用紙サイズを決定できない場合の論理上の用紙サイズを設定します。

重要

通常、WindowsやMacintoshから印刷する場合は、プリンタドライバで用紙サイズを設定します。MS-DOSやUNIXなどをOSとするコンピュータから印刷する場合で、用紙サイズが設定できないときは、本項目で設定してください。

手差しトレイ優先

シナイ、スル

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合に、プリンタが手差しトレイから順に給紙元を検知するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は次の順序で行われます。

カセット 1 →カセット 2*[1] →カセット 3*[2] →カセット 4*[2] →手差しトレイ

「スル」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、手差しトレイから次の順序で行われます。

手差しトレイ→カセット 1 →カセット 2*[1] →カセット 3*[2] →カセット 4*[2]

*1：オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

*2：LBP3970 にオプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

メモ

- 「用紙不一致時トレイ」（→P.3-17）が「ツカウ」に設定されている場合は、本項目の設定は無視され、給紙カセットから検知を行います。給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 自動給紙は、給紙選択メニューの「給紙モード」（→P.7-11）で設定します。
- 本項目は、給紙選択メニューの「給紙モード」が「ジドウ」に設定されている場合にのみ有効です。
- 本項目を「スル」に設定しても、手差しトレイの用紙サイズと受信データの用紙サイズが異なるときは、手差しトレイからは給紙されません。ただし、「用紙不一致時トレイ」（→P.3-17）が「ツカウ」に設定されている場合で、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていないときは、手差しトレイの用紙交換メッセージが表示されます。
- 受信データによっては、受信データと同じ用紙サイズの給紙カセットの給紙元表示ランプが点灯しているときに、本項目が「スル」に設定されていても手差しトレイから給紙されずに給紙カセットから給紙される場合があります。

用紙不一致時トレイ

ツカワナイ、ツカウ

給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合の動作を設定します。

「ツカワナイ」に設定すると、給紙カセットの用紙交換メッセージが表示され、印刷が中断します。

「ツカウ」に設定すると、手差しトレイから給紙します。手差しトレイにセットされている用紙が、受信データと異なる場合は、手差しトレイの用紙交換メッセージが表示され、印刷が中断します。また、手差しトレイに用紙がセットされていないときや用紙がなくなったときは、手差しトレイの用紙なしメッセージが表示され、印刷が中断します。

メモ　本項目を「ツカウ」に設定すると、「手差しトレイ優先」（→P.3-17）、「自動選択」（→P.3-18）の「手差しトレイ」の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。

自動選択

手差しトレイ .... **ツカウ**、ツカワナイ
カセット 1 .... **ツカウ**、ツカワナイ
カセット 2*1 .... **ツカウ**、ツカワナイ
カセット 3*2 .... **ツカウ**、ツカワナイ
カセット 4*2 .... **ツカウ**、ツカワナイ

*1「カセット 2」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

*2「カセット 3」、「カセット 4」は、LBP3970 にオプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。

手差しトレイ、給紙カセットのそれぞれについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象としません。

メモ
- 「用紙不一致時トレイ」（→P.3-17）が「ツカウ」に設定されている場合は、本項目の「手差しトレイ」の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 自動給紙は、給紙選択メニューの「給紙モード」（→P.7-11）で設定します。

デフォルト用紙タイプ

フツウシ、フツウシ L、フツウシ H、アツガミ L、アツガミ H、OHP フィルム、ハガキ、フウトウ、ラベルヨウシ

通常使用する用紙タイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

各印刷モードは、次のような用紙に対応しています。

- 「フツウシ」：普通紙（60 ～ 90g/m^2）
- 「フツウシ L」：「フツウシ」に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、「フツウシ L」に設定してください。
- 「フツウシ H」：「フツウシ」に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、「フツウシ H」に設定してください。
- 「アツガミ L」：厚紙（91 ～ 199g/m^2）
- 「アツガミ H」：「アツガミ L」に設定して印刷した結果、定着性をより改善したいときは、「アツガミ H」に設定してください。
- 「OHP フィルム」：OHP フィルム
- 「ハガキ」：郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、キヤノン推奨 4 面はがき

•「フウトウ」　：封筒
•「ラベルヨウシ」　：ラベル用紙

重要
- 「フツウシ」、「フツウシ L」、「フツウシ H」以外に設定した場合、両面印刷は行えません。
- 通常、Windows や Macintosh から印刷する場合は、プリンタドライバで用紙タイプを設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするコンピュータから印刷する場合で、用紙タイプが設定できないときは、本項目で設定してください。
- 本プリンタは、はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（60 〜 90g/m^2)、厚紙（91 〜 199g/m^2）やキヤノン推奨 4 面はがきに印刷することができます。はがき、往復はがき、4 面はがきサイズの普通紙（60 〜 90g/m^2）に印刷する場合は、「フツウシ」を選択し、厚紙（91 〜 199g/m^2）に印刷する場合は、「アツガミ L」を選択します。

両面印刷

シナイ、スル

* 本項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合にのみ表示されます。

用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。

「スル」に設定すると、用紙の両面に印刷します。

重要

通常、Windows や Macintosh から印刷する場合は、プリンタドライバで両面印刷を設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするコンピュータから印刷する場合で、両面印刷が設定できないときは、本項目で設定してください。

メモ
- A3、B4、A4、B5、A5、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、エグゼクティブサイズおよび以下のサイズのユーザ設定用紙の普通紙のみ自動両面印刷できます。詳しくはユーザーズガイド「第 3 章給紙・排紙のしかた」を参照してください。
  - ・縦置きの場合：幅 210.0 〜 297.0mm、長さ 210.0 〜 431.8mm
  - ・横置きの場合（LIPS LX プリンタドライバ使用時のみ）：幅 210.0 〜 297.0mm、長さ 148.0 〜 297.0mm
- ロゴ入りの用紙などに自動両面印刷するときは、次のように用紙をセットしてください。
  - ・給紙カセットから印刷するときは、1 ページ目の印刷面を上にしてセットします。
  - ・手差しトレイから印刷するときは、1 ページ目の印刷面を下にしてセットします。
- 給紙選択メニューの「両面印刷」でも同様の設定ができます（➞P.7-12）

レイアウトグループの設定項目

レイアウトグループでは、印字の位置の調整や、とじしろ用の余白の設定など、印刷するときの体裁に関わる条件について設定できます。

コピー枚数

1～9999

印刷の部数を設定します。

設定値で指定した部数だけ印刷されます。

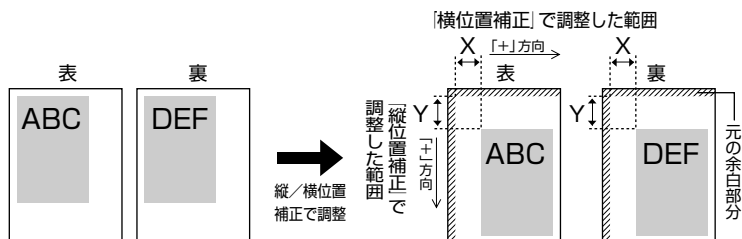
縦位置補正／横位置補正

-50.0～**0.0**～50.0（mm）

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

縦位置補正： 設定値が増えると用紙の Y 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の Y 方向の余白が狭くなります。

横位置補正： 設定値が増えると用紙の X 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の X 方向の余白が狭くなります。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

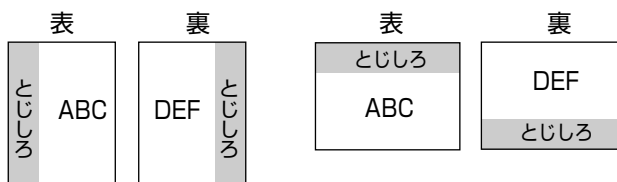
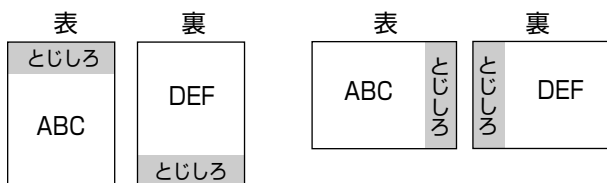
メモ　［►］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ増え、［◄］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ減ります。また、［►］あるいは［◄］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

とじ方向

チョウヘントジ、タンペントジ

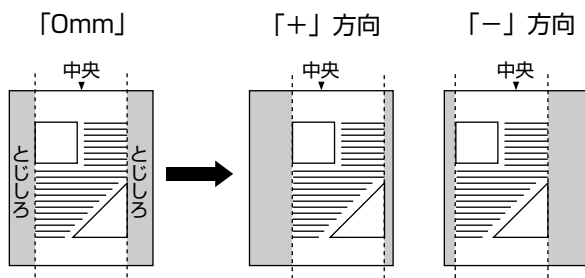
とじる位置を、用紙の長い辺（長手）にするか短い辺（短手）にするかを設定します。両面印刷をしてとじるときには、表面と裏面とで、とじしろの位置も自動的に調整します。

とじしろ用の余白の幅や、上／下／左／右とじのいずれにするのかは、「とじしろ」（➞P.3-22）で設定します。

「チョウヘントジ」に設定すると、とじる位置を用紙の長い辺にします。

「タンペントジ」に設定すると、とじる位置を用紙の短い辺にします。

メモ　本項目だけを設定してもとじしろをあけることはできません。「とじしろ」と組み合わせて設定することによって、とじしろをあけることができます。

とじしろ

-50.0 ～ **0.0** ～ 50.0（mm）

とじしろ用の余白をあけて印刷するときの、余白の幅を設定します。設定した値だけ画像をずらして余白を作ります。「＋」の値で画像を＋方向にずらし、「－」の値で画像を－方向にずらします。

用紙の長短どちらの辺にとじしろをあけるのかは「とじ方向」（➞P.3-21）で設定します。用紙の上下左右のどの辺にとじしろをあけるかは、「とじ方向」の設定と本項目の設定を「＋」にするか「－」にするかの組み合わせにより決まります。

重要 とじしろを設定した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ

- ［▶］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ増え、［◀］を押すたびに設定値が 0.5mm ずつ減ります。また、［▶］あるいは［◀］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。
- 「縦位置補正」、「横位置補正」と本項目を同時に設定した場合は、「縦位置補正」、「横位置補正」の処理が行われたあとで本項目の処理が行われます。

●とじ方向ととじしろの設定

下図の仕上りイメージを参考にして、とじ方向ととじしろを設定してください。

用紙を縦に使って印刷するか、横に使って印刷するかは、アプリケーションソフトなどで設定します。

特殊両面処理

スル、シナイ

「両面印刷」（➞P.3-19）が「スル」に設定されている状態で、奇数ページのジョブを印刷するときの最終ページの印刷面を設定します。

本項目の設定や給紙元により、最終ページの印刷面は以下のようになります。

- 給紙カセットから印刷する場合
「スル」に設定すると、セットした用紙の下の面に印刷して排紙します。
「シナイ」に設定すると、セットした用紙の上の面に印刷して排紙します。
- 手差しトレイから印刷する場合
「スル」に設定すると、セットした用紙の上の面に印刷して排紙します。
「シナイ」に設定すると、セットした用紙の下の面に印刷して排紙します。

プレプリント紙など用紙の向きや表裏のある用紙に印刷するとき、最終ページの用紙の向きや表裏を前ページと合わせたいときは、本項目を「シナイ」に設定しておきます。

メモ　本項目は「両面印刷」を「スル」に設定したときのみ有効です。

印字調整グループの設定項目

印字調整グループでは、トナー濃度や中間調の設定など、印刷の品質について設定できます。

スーパースムーズ

ツカウ、ツカワナイ

文字や図形のギザギザの輪郭をなめらかに印刷するスムージング処理を使うかどうかを設定します。

「ツカウ」に設定すると、スムージング処理を使って印刷します。

「ツカワナイ」に設定すると、スムージング処理を使わずに印刷します。

メモ

- スーパースムージングの効果は、文字やグラフィック（図・表・グラフなど）のパターンによって異なります。
- 「階調処理」（→P.3-25）の項目が「コウカイチョウ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、「ツカワナイ」に設定した場合と同様に処理されます。

階調処理

ヒョウジュン、コウカイチョウ

印刷するときの、データの階調処理の方法を設定します。

「ヒョウジュン」は、比較的安定した画質を得られるため、一般的な文書や表を印刷する場合に向いています。

「コウカイチョウ」は、写真やグラデーションなどの複雑な階調を持つデータを印刷するのに向いており、「ヒョウジュン」に設定した場合よりもきめ細かな階調表現が可能です。

ドラフトモード

ツカワナイ、ツカウ

ドラフトモードはテスト印刷をするために使用します。

メモ

本項目を「ツカウ」に設定すると、印刷結果が薄くなり、不鮮明になることがあります。また、ごく淡いグレーの階調部分などは逆に濃くなることがあります。

トナー濃度

1 ～ **4** ～ 16

印刷するときの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

中間調選択

テキスト..................... **コウカイゾウド**、カイゾウド、カイチョウ、シキチョウ
グラフィックス......... **カイチョウ**、シキチョウ、コウカイゾウド、カイゾウド
イメージ..................... **シキチョウ**、コウカイゾウド、カイゾウド、カイチョウ

印刷時の中間調の表現方法を設定します。

「テキスト」、「グラフィックス」、「イメージ」といったデータの種類ごとに設定することができます。

「色調」は、明暗のコントラストを効かせ、安定した質感とメリハリのある階調で印刷を行うことができます。写真画像などのイメージデータを印刷するのに適しています。

「階調」は、滑らかな階調と輪郭の品位を両立した印刷を行うことができます。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

「解像度」は、テキストデータ等の輪郭がはっきりと見えるような精細な印刷を行うことができます。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

「高解像度」は、「解像度」よりも高精細な印刷を行うことができますが、質感の安定性は若干劣ります。文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭をシャープに印刷するのに適しています。

メモ　LIPS4、LIPS LX では選択された中間調によって階調特性が異なります。

画質警告

ケイゾク、テイシ

処理に必要なメモリが不足したときに、自動的に画質を落として印刷を継続するか、以下のエラーメッセージを表示させて停止するかを設定します。

エラーメッセージ	設定内容
「38　ガシツテイカ」	大量のデータや複雑なデータを受信すると、処理に必要なメモリが不足して、画質を自動的に落として印刷することがあります。そのときに、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

「ケイゾク」に設定すると、メッセージを表示せずに、自動的に画質を落として印刷します。

「テイシ」に設定すると、メッセージを表示して印刷を停止します。その場合、[オンライン］を押すと、画質を落として印刷を再開します。

メモ

本項目を「テイシ」に設定して、「38　ガシツテイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下の対処を行ってください。

1. 「階調処理」の項目が「コウカイチョウ」に設定されている場合は、「ヒョウジュン」に設定する。ただし、この場合は、階調を落として印刷します。
2. 1 の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずに印刷したい場合は、オプションの拡張メモリ（RAM）を増設する。

3

共通セットアップメニューの設定項目

インタフェースグループの設定項目

インタフェースグループでは、コンピュータと接続するときの方法や、データをやりとりするときの取り決めについて設定できます。

インタフェースグループは、設定項目によってコンピュータの側のユーティリティソフトから行えない場合があります。このような設定項目は、プリンタの操作パネルで設定してください。

インタフェース選択

USB .... **ツカウ、ツカワナイ**
ネットワーク .... **ツカウ、ツカワナイ**

コンピュータなどとの通信に使用するインタフェースの種類について設定します。

それぞれのインタフェースに対して「ツカウ」、「ツカワナイ」の設定ができます。

複数のインタフェースを「ツカウ」に設定しても、先に受信したインタフェースに自動的に切り替えるので、種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつどプリンタ側で設定を変更する必要はありません。

重要 本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

タイムアウト

5 ～ 15 ～ 300 ビョウ、シナイ

動作モード自動切り替えを設定している場合、プリンタは、データを受信するとコントロールコマンドを認識して、動作モードを切り替えて印刷を開始し、データの終了を認識すると動作モードを終了します。この処理を「ジョブ」といいます。

プリンタ側ではジョブが終了しないと、次に違う種類のコントロールコマンドのデータがきても動作モード自動切り替えができません。このような場合に本項目でタイマーを設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます（LIPS/LIPS LX プリンタドライバからの印刷データは終了できません）。

また、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないために、プリンタ内にデータが残ったままの状態のときも、本項目を設定しておくと、自動的に排紙することができます。

設定値で指定した時間が経過すると、自動的にジョブを終了します。また、「シナイ」に設定した場合は自動ジョブ終了の機能を使いません。

重要　自動ジョブ終了を設定した場合、コンピュータ側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しい印刷結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。

メモ
- ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

標準ネットワーク

■ TCP/IP 設定

IP モード.................................... **シュドウ**、ジドウ
プロトコル *
　DHCP.................................... **オフ**、オン
　BOOTP.................................... **オフ**、オン
　RARP.................................... **オフ**、オン
アドレス
　IP アドレス.................................... 0.0.0.0
　サブネットマスク.................................... 0.0.0.0
　ゲートウェイアドレス.................................... 0.0.0.0
DNS
　プライマリアドレス.................................... 0.0.0.0
　セカンダリアドレス.................................... 0.0.0.0
WINS.................................... **オフ**、オン
ARP/PING.................................... **オン**、オフ
FTP
　FTP 印刷.................................... **オン**、オフ
　FTP 設定.................................... **オン**、オフ
LPD 印刷.................................... **オン**、オフ
RAW 印刷.................................... **オン**、オフ
BMLinkS.................................... **ツカワナイ**、ツカウ
IPP 印刷.................................... **オン**、オフ
HTTP.................................... **オン**、オフ
SNTP.................................... **オフ**、オン
探索応答.................................... **オン**、オフ
IP アドレス範囲設定
　受信／印刷拒否.................................... **シナイ**、スル
　拒否アドレス設定 *.................................... 拒否 IP アドレス １～８
　受信／印刷許可.................................... **シナイ**、スル
　許可アドレス設定 *.................................... 許可 IP アドレス １～８
　設定／参照拒否.................................... **シナイ**、スル
　拒否アドレス設定 *.................................... 拒否 IP アドレス １～８
　設定／参照許可.................................... **シナイ**、スル
　許可アドレス設定 *.................................... 許可 IP アドレス １～８
MAC アドレス設定
　受信許可.................................... **シナイ**、スル
　許可アドレス設定 *.................................... 許可 MAC アドレス 1 ～ 50

* 本項目は、「インタフェース選択」の「ネットワーク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 「プロトコル」は、「IP モード」が「ジドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 「拒否アドレス設定」、「許可アドレス設定」は、「受信／印刷拒否」、「受信／印刷許可」、「設定／参照拒否」、「設定／参照許可」、「受信許可」が「スル」に設定されている場合にのみ表示されます。

本プリンタに内蔵されているプリントサーバの TCP/IP 設定を行います。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ
- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」などの数値を入力するには、［◀］または［▶］を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）にカーソルを移動します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。［▲］を押すと数値が増え、［▼］を押すと数値が減少します。すべてのフィールドの数値を入力したら、［OK］を押して確定します。
- 設定内容については、ネットワークガイド／本編「第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用するには」を参照してください。
- MAC アドレス設定は、［優先ネットワーク設定］の項目が［標準ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。［優先ネットワーク設定］の設定は、リモート UI の［拡張カード］ページまたは、操作パネルの「拡張カード」（➞P.3-32）で行います。

■ AppleTalk

オフ、オン

* 本項目は、「インタフェース選択」の「ネットワーク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

AppleTalk を使用するかどうかを設定します。

メモ　AppleTalk についての詳細は、ネットワークガイド／本編「第 5 章 AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh）」を参照してください。

■ SMB

SMB サーバ .... オフ、オン

* 本項目は、「インタフェース選択」の「ネットワーク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

SMB プロトコルを使用するかどうかを設定します。

■ SNMP

オン、オフ

* 本項目は、「インタフェース選択」の「ネットワーク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

SNMP プロトコルを使用するかどうかを設定します。

■ 起動待機時間

0 ～ 300 ビョウ

* 本項目は、「インタフェース選択」の「ネットワーク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

電源をオンにしてから、プロトコルが起動するまでの時間を設定します。

メモ　起動待機時間についての詳細は、ネットワークガイド／本編「第 2 章ネットワークの共通設定」を参照してください。

■ リモート UI 設定

リモート UI .... オン、オフ

* 本項目は、「インタフェース選択」の「ネットワーク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

リモート UI を使用するかどうかを設定します。

■ ETHERNET ドライバ

自動検出 .... オン、オフ
通信方式 *.................................... ハン 2 ジュウ、ゼン 2 ジュウ
ETHERNET 種類 *..................... 10BASE-T、100BASE-TX
MAC アドレス .... （表示のみ）

* 本項目は、「インタフェース選択」の「ネットワーク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 「通信方式」および「ETHERNET 種類」は、「自動検出」の項目が「オフ」に設定されている場合にのみ表示されます。

Ethernet ドライバの設定を行います。

メモ
- Ethernet ドライバについての詳細は、ネットワークガイド／本編「第 2 章ネットワークの共通設定」を参照してください。
- 本項目は、［優先ネットワーク設定］の項目が［標準ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。［優先ネットワーク設定］の設定は、リモート UI の［拡張カード］ページまたは、操作パネルの「拡張カード」（➞P.3-32）で行います。

■ ネットワーク設定初期化

－

* 本項目は、「インタフェース選択」の「ネットワーク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

初期化を行うと、標準ネットワークの設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

ネットワークの初期化は次の手順で行います。

1. ［セットアップ］を押します。
2. ［◀］または［▶］で「インタフェース」を選択し、［OK］を押します。
3. ［◀］または［▶］で「ヒョウジュンネットワーク」を選択し、［OK］を押します。
4. ［◀］または［▶］で「ネットワークセッテイショキカ」を選択し、［OK］を押します。
5. 「ジッコウシマスカ？」と表示されますので、［OK］を押すと、初期化が行われます。

※ ［OK］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常の印刷ができる状態に戻ります。

拡張カード

－

プリンタの拡張ボードスロットに装着したインタフェースボードの設定です。インタフェースボードを装着したときのみ設定項目が表示されます。詳細についてはインタフェースボードに付属の取扱説明書を参照してください。

コネクション認識

スル、シナイ

「標準ネットワーク」を使用して印刷した場合に、正しい印刷結果が得られないこと（文字化けやオーバレイプリントが正しくできないなど）があります。そのような場合に、本項目を「シナイ」に設定してください。

拡張受信バッファ

ツカワナイ、ツカウ

* 本項目は、オプションの RAM が装着されている場合にのみ表示されます。

「ツカウ」に設定すると、プリンタのデータを受け取る受信バッファのメモリ容量を増やします。コンピュータから大量のデータや複雑なデータを送るときに、コンピュータの開放時間を早めることができます。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

動作モードグループの設定項目

動作モードグループでは、エミュレーションの固定や優先などプリンタの動作モードについて設定できます。

動作モード選択

ジドウ　センタク、LIPS、N201*、ESC/P、I5577*、HP-GL*、HEX-DUMP、LIPS-DUMP

* 「N201」、「I5577」、「HP-GL」は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ表示されます。

動作モード選択では、本プリンタが動作するモードを設定することができます。コンピュータから送信されたデータによって自動的に動作モードを切り替えるか、LIPS、ESC/P の各モードやオプションのエミュレーションモード（N201、I5577、HP-GL）に動作モードを固定して本プリンタを使用するかを設定できます。

また、データを文字や図形に変換せずに、16 進コードで印刷する「HEX-DUMP」や、LIPS のコントロールコマンドの状態で印刷する「LIPS-DUMP」で印刷することもできます。

メモ　「LIPS」、「LIPS-DUMP」は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効になります。

「ジドウ　センタク」：（自動切り替えモード）

コンピュータから送信されたデータが、LIPS コマンド、ESC/P エミュレーションコマンド、オプションのエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、動作モードを切り替えます。アプリケーションソフトから印刷する場合、通常はこのモードでお使いください。

工場出荷時は、「ジドウ　センタク」が設定されています。

重要　オプションのコントロール ROM を装着している場合は、オプションのエミュレーションモードも含めて自動切り替えが行えます。

メモ　工場出荷時の状態では、オプションのエミュレーションモードも含めてすべてのモードを対象に自動切り替えを行いますが、自動切り替えの対象となるモードを限定することもできます。詳しくは、「自動切り替え」（➞P.3-36）を参照してください。

「LIPS」：（LIPS モード）

動作モードを LIPS モードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが LIPS に限られる場合や、自動切り替えでうまく LIPS モードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「N201」:(N201 エミュレーションモード)

動作モードを N201 エミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合のみ表示されます。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが N201 に限られる場合や、自動切り替えでうまく N201 エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「ESC/P」:(ESC/P エミュレーションモード)

動作モードを ESC/P エミュレーションモードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが ESC/P に限られる場合や、自動切り替えでうまく ESC/P エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「I5577」:(I5577 エミュレーションモード)

動作モードを I5577 エミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合のみ表示されます。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが I5577 に限られる場合や、自動切り替えでうまく I5577 エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「HP-GL」:(HP-GL エミュレーションモード)

動作モードを HP-GL エミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合のみ表示されます。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが HP-GL に限られる場合や、自動切り替えでうまく HP-GL エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「HEX-DUMP」:(ヘキサダンプモード)

コンピュータから送信されたデータを図形や文字に変換せずに 16 進コードで印刷します。コンピュータからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

ヘキサダンプリストの見かたについては、「ヘキサダンプリスト」(➞P.8-14)を参照してください。

「LIPS-DUMP」:(LIPS ダンプモード)

コンピュータから送信されたデータを図形や文字に変換せずに LIPS のコントロールコマンドの形式で印刷します。コンピュータからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

LIPS ダンプリストの見かたについては、「LIPS ダンプリスト」（➞P.8-15）を参照してください。

●動作モードの自動切り替えについて

アプリケーションソフトのプリンタ選択画面で、常に特定のプリンタ名しか選択しない（特定のコントロールコマンドしか使わない）場合以外は、動作モードは自動切り替えに設定しておくと便利です。

自動切り替えに設定した場合は、受信したデータの順にコントロールコマンドの種類を認識して自動的に動作モードを切り替えて印刷します。

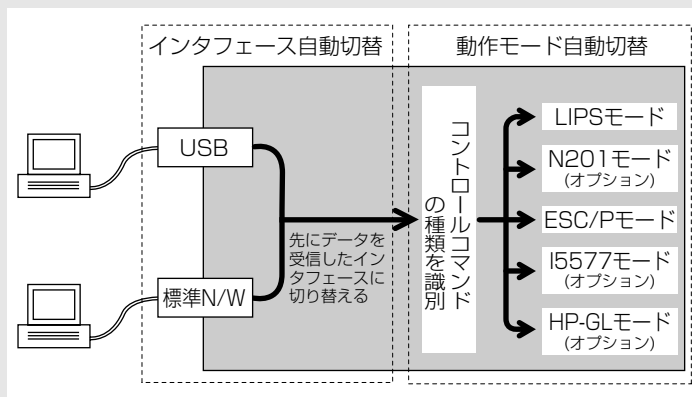
自動切り替えで正しく動作モードを切り替えたいときは、セットアップメニューのインタフェースグループの「タイムアウト」（➞P.3-28）を設定しておく必要があります。ジョブタイムアウトは、データが入力されなくなってから一定時間以上たつと、それまで動作していた動作モードを終了し、次の動作モードに切り替われる状態にする機能です。工場出荷時は、データが入力されなくなってから15秒たつと、動作モードを終了するように設定されています。

また、本プリンタにはインタフェースの種類を自動的に切り替える機能もあります。インタフェースの自動切り替えと動作モードの自動切り替えを同時に設定している場合は、次の順番で切り替えます。

① インタフェースを切り替える

データを先に受信したインタフェースに自動的に切り替えます。

② 動作モードを切り替える

受信したデータのコントロールコマンドの種類を識別して、動作モードを自動的に切り替えます。

自動切り替え

LIPS... **ツカウ**、ツカワナイ
N201*....................................... **ツカウ**、ツカワナイ
ESC/P....................................... **ツカウ**、ツカワナイ
I5577*...................................... **ツカウ**、ツカワナイ
HP-GL*...................................... **ツカウ**、ツカワナイ

* 「N201」、「I5577」、「HP-GL」は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ表示されます。

動作モード自動切り替えが設定されている場合の、自動切り替えの対象となる動作モードを設定します。LIPS エミュレーション、ESC/P エミュレーション、オプションのエミュレーションの各モードについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、そのモードを自動切り替えの対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、そのモードを自動切り替えの対象としません。

メモ

- 動作モード自動切り替えは、「動作モード選択」（➞P.3-33）で設定します。
- 本項目で、すべてのモードを自動切り替えの対象としない設定にしたときに、動作モード自動切り替えが設定された場合は、「優先エミュレーション」（➞P.3-36）で設定されたモードで動作します。

優先エミュレーション

ナシ、LIPS、N201*、ESC/P、I5577*、HP-GL*

* 「N201」、「I5577」、「HP-GL」は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ表示されます。

動作モードの自動切り替えを設定した状態で、本プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。

「ナシ」に設定すると、優先エミュレーションを設定しません。コントロールコマンドを識別できなかった場合は、本プリンタが自動的に動作モードを決定します。

ユーザメンテナンスグループの設定項目

ユーザメンテナンスグループでは、トラブル発生時のプリンタの調整について設定できます。

印字位置調整

縦位置補正（トレイ）	-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm）
横位置補正（トレイ）	-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm）
縦位置補正（カセット 1）	-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm）
横位置補正（カセット 1）	-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm）
縦位置補正（カセット 2）*1	-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm）
横位置補正（カセット 2）*1	-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm）
縦位置補正（カセット 3）*2	-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm）
横位置補正（カセット 3）*2	-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm）
縦位置補正（カセット 4）*2	-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm）
横位置補正（カセット 4）*2	-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm）
縦位置補正（両面）*3	-5.0 ～ **0.0** ～ 5.0（mm）
横位置補正（両面）*3	-2.59 ～ **0.0** ～ 2.59（mm）

*1「縦位置補正（カセット 2）」、「横位置補正（カセット 2）」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

*2「縦位置補正（カセット 3）」、「横位置補正（カセット 3）」「縦位置補正（カセット 4）」、「横位置補正（カセット 4）」は、LBP3970 にオプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

*3「縦位置補正（両面）」、「横位置補正（両面）」は、オプションの両面ユニットが装着されている場合にのみ表示されます。

指定した給紙元からの印字位置を設定します。設定値で指定した値だけ、縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値は mm で表されており、［►］または［◄］を押して調整することができます。

印字位置の調整を行わない場合は、「0.0」に設定します。

「縦位置補正（両面）」、「横位置補正（両面）」は、両面印刷時の 1 ページ目の印字位置を設定します。両面印刷時の 2 ページ目はそれぞれの給紙元の設定にしたがいます。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ
- ユーティリティメニューの「印字位置プリント」（→P.7-7）で設定した印字位置を確認することができます。

- 印字位置調整の操作については、ユーザーズガイド「第 4 章日常のメンテナンス」を参照してください。
- 両面印刷時の 2 面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや「とじ方向」(→P.3-21) の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

リカバリ印刷

スル、シナイ

紙づまりが起きた場合やエラーが発生して印刷が中断した場合、一部分でも印字されたページを印刷するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、紙づまりが起きたページやエラーが起きたページから印刷しなおします。

「シナイ」に設定すると、紙づまりやエラーが起きたときに、一部分でも印字されたページは印刷を行わず、次のページから印刷を行います。

両面印刷の場合は、1 面目の一部分でも印字されていたときは、2 面目のページも印刷を行いません。次のページの 1 面目から印刷されます。

特殊モード J

ツカワナイ、ツカウ

「手差しトレイ用紙サイズ」を「フリー」に設定した場合に、「41　ヨウシサイズ　カクニン」を表示させて印刷を中断するか、そのまま印刷するかを設定します。

「ツカワナイ」に設定すると、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと実際に手差しトレイにセットされた用紙サイズが異なる場合、「41　ヨウシサイズ　カクニン」が表示されて、印刷が中断されることがあります。エラーとなった用紙は自動的に排紙されます。また、[オンライン] を押して、印刷を継続することもできます。ただし、正しく印刷されなかったり、紙づまりが発生することがあります。

「ツカウ」に設定すると、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと実際に手差しトレイにセットされた用紙サイズが異なる場合でも、チェックを行わずに印刷します。ただし、印刷速度が低下することがあります。また、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズの大きさで印刷されるので、手差しトレイにセットされた用紙がアプリケーションソフトで指定した用紙サイズと異なる場合は、余白があいたり、画像の一部が欠けたりすることがあります。

自動両面印刷時には、本項目の設定に関わらず、必ず「41　ヨウシサイズ　カクニン」が表示されて、印刷が中断されます。

用紙サイズ置換

シナイ、スル

印刷する用紙サイズの給紙カセットが、プリンタにセットされていないときに、次のサイズの給紙カセットにセットされている用紙に置き換えて印刷します。

印刷する用紙		プリンタドライバの設定
レター	→	A4
A4	→	レター
レジャー（11 × 17）	→	A3
A3	→	レジャー（11 × 17）

「スル」に設定すると、用紙サイズの置き換えを行います。

「シナイ」に設定すると、用紙サイズの置き換えを行わずにエラーメッセージが表示され、印刷は停止します。

メモ　「スル」に設定している場合でも、印刷する用紙サイズが用紙なしのときは、用紙サイズの置き換えを行いません。

画像特殊処理

モード 1、モード 2、モード 3

印刷環境や用紙の種類によっては、印刷した文字や線などの図形がにじんだように印刷されることがあります。そのような場合に、本項目を「モード 2」に設定してください。「モード 2」に設定しても問題が解決しない場合は、「モード 3」に設定してください。

重要
- 印刷環境や用紙の種類を変えることで設定値を「モード 1」に戻しても、印刷した文字や線、図形のにじみが発生しなくなることがあります。その場合、設定値を「モード 1」にしてご使用ください。
- 本項目を「モード 2」または「モード 3」に設定すると、文字や線などの図形のにじみは軽減されますが、「モード 1」に比べ印字濃度が薄くなります。また、輪郭がはっきりしなくなったり、粗さが多少目立つことがあります。

うねり特殊処理

シナイ、スル

用紙の種類によっては、しわがよることがあります。本項目を「スル」に設定すると、この問題を改善できる場合があります。

重要　本項目は通常「シナイ」に設定してご使用ください。上記の問題が発生したときのみ、「スル」に設定してください。

ファームウェア更新

■ USB

ー

本項目は、プリンタのファームウェアをバージョンアップする必要があるときにのみ実行します。

■ 標準ネットワーク

ー

本項目は、プリンタのファームウェアをバージョンアップする必要があるときにのみ実行します。

LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

4
CHAPTER

この章では、LIPS モードに固有の LIPS 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。LIPS 専用セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効な「LIPS4 セットアップ」と、LIPS LX を使用しているときのみ有効な「LIPS LX セットアップ」があります。

LIPS 専用セットアップメニュー 設定項目一覧

■ 表の見かた

太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ LIPS4 セットアップ

設定項目	設定値	参照ページ
拡大／縮小	**シナイ**、→ A3、→ B4、→ A4、→ B5、→ A5、→ハガキ、→オウフク ハガキ、→ 4 メン ハガキ、→リーガル、→レター	P.4-4
複数ページ印刷	**シナイ**、2 ページ（ヒダリ）、2 ページ（ミギ）、4 ページ（ヨコ - ヒダリ）、4 ページ（ヨコ - ミギ）、4 ページ（タテ - ヒダリ）、4 ページ（タテ - ミギ）	P.4-4
複数ページ余白	**パターン 1**、パターン 2	P.4-6
ページの向き	**タテ**、ヨコ	P.4-7
オーバレイ 1 ／ 2	**シナイ**、0 ～ 32767	P.4-7
スタートアップマクロ	0 ～ **30** ～ 32767	P.4-8
漢字コード	**JIS**、シフト JIS、EUC、DEC	P.4-9
文字サイズ	**10 ポイント**、12 ポイント、8 ポイント	P.4-10
漢字書体	**ミンチョウ**、ゴシック	P.4-10
ANK 書体	**ミンチョウ**、ゴシック、ラインプリンタ	P.4-11
漢字グラフィックセット	**JIS90**、JIS78	P.4-11
行数	**6LPI**、8LPI、10 ～ 99	P.4-11
桁数	**ジドウ**、10CPI、12CPI、15CPI、10 ～ 200	P.4-12
自動改ページ	**スル**、シナイ	P.4-12
自動改行	**スル**、シナイ	P.4-12
CR 機能	**CR ノミ**、CR+LF	P.4-12
LF 機能	**LF ノミ**、LF+CR	P.4-13
網かけ解像度	**クイック**、ファイン	P.4-13
ジョブタイムアウト	**シナイ**、スル	P.4-13
白紙節約	**スル**、シナイ	P.4-13

■ LIPS LX セットアップ

設定項目	設定値	参照ページ
白紙節約	**スル**、シナイ	P.4-14

LIPS4 セットアップメニューの設定項目

LIPS4 セットアップメニューでは、拡大／縮小や複数ページ印刷などについて設定できます。

メモ　LIPS4 セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS II+、LIPS III、LIPS IV を使用しているときのみ有効です。

拡大／縮小

シナイ、→ A3、→ B4、→ A4、→ B5、→ A5、→ハガキ、→オウフク　ハガキ、→４メン　ハガキ、→リーガル、→レター

拡大または縮小の設定をします。

アプリケーションソフトで作成したデータサイズと、設定値で指定した出力用紙サイズから、自動的に倍率を計算し、拡大／縮小して印刷します。

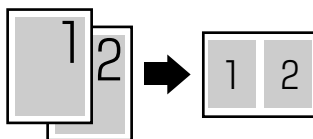
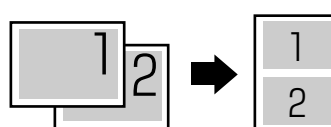
メモ
- アプリケーションソフトで作成するデータのサイズが定形サイズ（A4、B5 など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- 拡大／縮小の処理は、データの左上端を基点として処理します。
- 拡大／縮小で印刷すると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。
- アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小して印刷されないことがあります。
- 拡大／縮小率が25～200%の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍で印刷されます。この場合正しい印刷結果にはなりません。

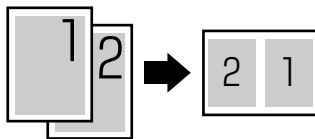
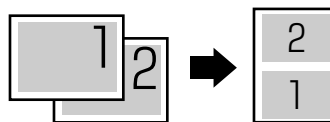
複数ページ印刷

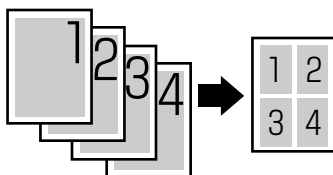
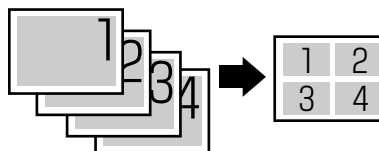
シナイ、2 ページ (ヒダリ)、2 ページ (ミギ)、4 ページ (ヨコ - ヒダリ)、4 ページ (ヨコ - ミギ)、4 ページ (タテ - ヒダリ)、4 ページ (タテ - ミギ)

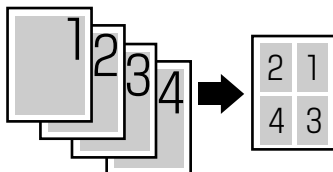
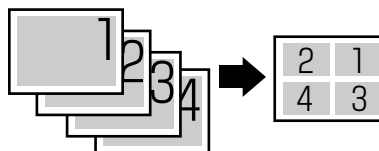
アプリケーションソフト側で作成したデータを、2 ページ分または 4 ページ分を並べて 1 ページに印刷できます。

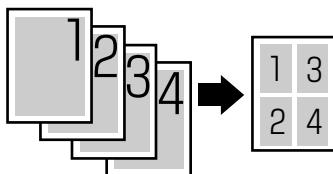
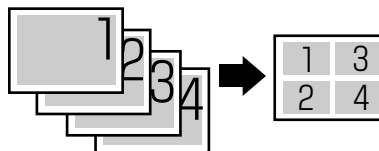
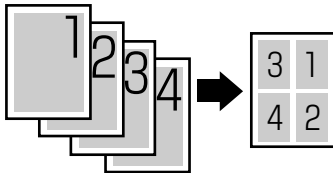
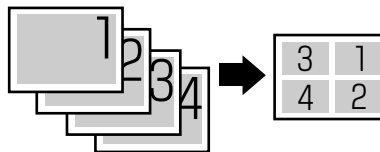
「2 ページ（ヒダリ）」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合

用紙を横に使って印刷する場合

「2 ページ（ミギ）」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べて印刷します。

用紙を横に使って印刷する場合

「4 ページ（ヨコーヒダリ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、左上から横方向に並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合　　用紙を横に使って印刷する場合

「4 ページ（ヨコーミギ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、右上から横方向に並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合　　用紙を横に使って印刷する場合

「4 ページ（タテーヒダリ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、左上から縦方向に並べて印刷します。

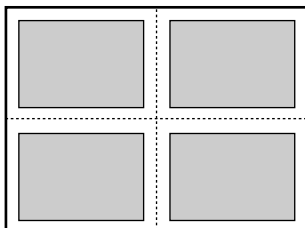
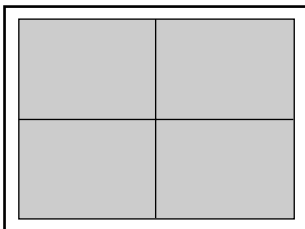
用紙を縦に使って印刷する場合　　用紙を横に使って印刷する場合

「4 ページ（タテーミギ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、右上から縦方向に並べて印刷します。

用紙を縦に使って印刷する場合

メモ

- 異なるサイズのページデータを並べて 1 ページに印刷することはできません。
- 拡大／縮小と複数ページ印刷を同時に設定し縮小率が　25%より小さくなる場合、複数ページ印刷は行われず正しい印刷結果にはなりません。

複数ページ余白

パターン 1、パターン 2

「複数ページ印刷」の機能を使って 2 ページ分または 4 ページ分を並べて印刷する場合の、余白のとりかたを設定します。

「パターン　1」に設定すると、各ページが接する部分に余白をつけてレイアウトします。

「パターン　2」に設定すると、各ページが接する部分に余白をつけずにレイアウトします。

メモ

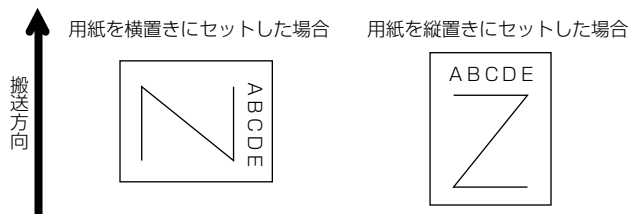
- 「パターン 1」と「パターン 2」とでは余白のとりかたが違うため、画像の縮小率が異なります。「パターン 1」よりも「パターン 2」のほうが若干画像が大きくなります。
- 「パターン　2」に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白がつくことがあります。

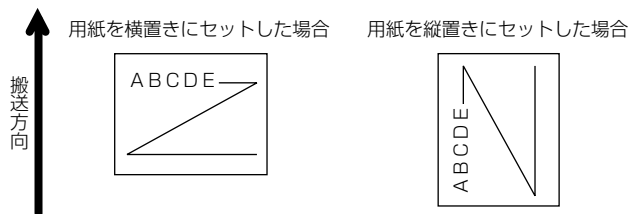
• LIPS プリンタドライバの［仕上げ詳細］で「印字領域を広げて印刷する」にチェックした場合は、本項目を「パターン 1」に設定していても「パターン 2」で処理されます。

ページの向き

タテ、ヨコ

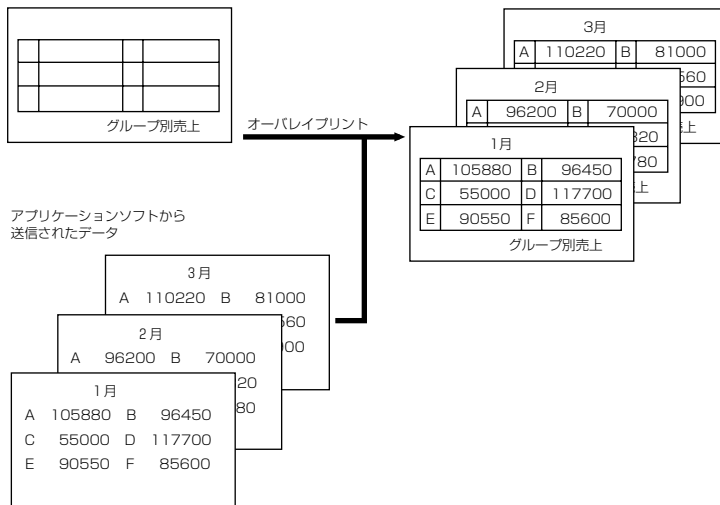
用紙を縦に使用して印刷するのか、横に使用して印刷するのかを設定します。

「タテ」に設定すると、用紙を縦に使用して印刷します。

「ヨコ」に設定すると、用紙を横に使用して印刷します。

オーバレイ 1 ／オーバレイ 2

シナイ、0 ～ 32767

オーバレイプリントを行うかどうかを設定します。オーバレイプリントを行う場合は、オーバレイプリントで使用するフォーマットデータの番号を指定します。

オーバレイプリントとは、各ページに共通するタイトルや表組みなどのフォーマットを、あらかじめプリンタのオーバレイ領域に登録し、後から別のデータを重ねて印刷する機能です。オーバレイプリントを行うと、各ページ共通のデータを、ページごとにアプリケーションソフト側から送る必要がないため、効率良く印刷することができます。

オーバレイ領域には、１ページ分のフォーマットを最大で 32,768 種類登録することができます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。登録の際にはフォーマットに 0 ～ 32767 の番号をつけて登録します。本項目では、オーバレイ１あるいはオーバレイ２として、どの番号のフォーマットを選択するかという設定だけを行います。

メモ

- オーバレイの内容は、電源をオフにするか、ハードリセット操作を行うと削除されます。
- オーバレイ領域に登録したフォーマットデータの内容や番号、サイズは、LIPS 専用ユーティリティの「オーバレイ　プリント」、「オーバレイ　リスト」で確認することができます。詳しくは、「LIPS ユーティリティ（LIPS 専用ユーティリティ）」（➞P.7-4）を参照してください。
- 登録するフォーマットを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

スタートアップマクロ

0 ～ **30** ～ 32767

スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。使用しない場合は「0」を、使用する場合は実行したいマクロ番号を指定します。

スタートアップマクロ機能は、あらかじめコンピュータ側で作成した LIPS のコントロールコマンドのプログラムを、プリンタのマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド（ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット）で実行するようにする機能です。

マクロ領域には、最大で 1 ～ 32,767 番までの 32,767 種類のプログラムを登録することができます。登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。プリンタ側では、本項目で実行したいマクロの番号の選択だけを行います。選択した番号のマクロはリセットを行うたびに実行されます。

メモ

- 登録したマクロの番号やサイズなどは、LIPS 専用ユーティリティの「マクロ　リスト」で確認することができます。詳しくは、「LIPS ユーティリティ（LIPS 専用ユーティリティ）」（➞P.7-4）を参照してください。
- 登録するプログラムを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

漢字コード

JIS、シフト JIS、EUC、DEC

コンピュータで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。

通常は「JIS」に設定しておきますが、次のような場合に「JIS」以外に設定します。

- アプリケーションソフトを使わず、MS-DOS の文字データをそのまま印刷するときには「シフト JIS」を設定します。
- UNIX を OS とするワークステーションやコンピュータを使用するときには「EUC」（Extended Unix Code：UNIX 拡張コード）を設定します。
- DEC漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときには「DEC」（DEC コード）を設定します。

各漢字コードの文字セットは、次のように G0 ～ G3 の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフト　JIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字

GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0 ～ G1	G0 ～ G1	解除	解除

重要

- 「シフト JIS」に設定した場合は、LIPS の C1 制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を 7 ビット形式で送信すれば、LIPS のコマンドとして動作します。
- 本項目で漢字コードを設定するということは、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるということです。JIS で規定されていない拡張文字などは印刷されません。
  上記以外の漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当ててください。

メモ

- 指定された文字セットが存在しない場合は、近い属性の文字セットを使用して印刷します。
- JIS 漢字コードには「新 JIS」と「旧 JIS」があります。新 JIS と旧 JIS の切り替えは、「漢字グラフィックセット」（➞P.4-11）で設定します。

- UNIXではEUCを採用していますが、中にはOSのデバイスドライバがJIS漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、コンピュータの操作説明書を参照してください。

文字サイズ

10 ポイント、12 ポイント、8 ポイント

印字する文字の大きさをポイント数で設定します。

1 ポイントは約 0.35mm（1/72"）です。

コントロールコマンドで LIPS III または LIPS IV を使用しているときと、LIPS II^{+}を使用しているときとでは同じ設定値でも、実際に印刷される大きさが次のように異なります。

「10 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 10 ポイント　LIPS II^{+}＝ 9.6 ポイント

「12 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 12 ポイント　LIPS II^{+}＝ 12 ポイント

「8 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 8 ポイント　LIPS II^{+}＝ 7.2 ポイント

設定値	LIPS III／IV	LIPS II^{+}
8ポイント 10ポイント 12ポイント	8　文字サイズ 10　文字サイズ 12　文字サイズ	7.2　文字サイズ 9.6　文字サイズ 12　文字サイズ

メモ　LIPS II^{+}のときのポイント数（7.2、9.6）はディスプレイに表示されません。

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

「ミンチョウ」	「ゴシック」
明朝体	ゴシック体

4

LIPS専用セットアップメニューの設定項目

ANK 書体

ミンチョウ、ゴシック、ラインプリンタ

半角英数字や半角カナなどの ANK 文字の書体を設定します。

ANK とは、Alphabet、Numeric、Kana の略です。

ミンチョウ	123　ABC　ﾐﾝﾁｮｳﾀｲ
ゴシック	123　ABC　ｺﾞｼｯｸﾀｲ
ラインプリンタ	123　ABC　ﾗｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀ

漢字グラフィックセット

JIS90、JIS78

「漢字コード」（➞P.4-9）の種類で「JIS」を選択した場合に使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS 漢字コードには「新 JIS（JIS90）」と「旧 JIS（JIS78）」があります。新JISコードは、旧JISコードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。

メモ

- グラフィックセットとは、コンピュータからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
- 新 JIS と旧 JIS の漢字コード表は付属の CD-ROM に収められています。

行数

6LPI、8LPI、10 ～ 99

１インチまたは１ページに印刷する行数を設定します。

LPI は Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数の単位を表します。

「6LPI」に設定すると、１インチに 6 行印刷します。

「8LPI」に設定すると、１インチに 8 行印刷します。

「10 ～ 99」に設定すると、1 ページに印刷する行数を 10 ～ 99 行の範囲で設定します。「10」を選択してから［►］を押すと行数が増え、［◄］を押すと行数が減ります。

桁数

ジドウ、10CPI、12CPI、15CPI、10 ～ 200

1 インチまたは 1 行に印刷する文字数を設定します。

CPI は、Characters Per Inch の略で、1 インチあたりの文字数の単位を表します。

「ジドウ」に設定すると、現在選択しているフォントに応じた文字数で印刷します。

「10CPI」に設定すると、1 インチに 10 桁印刷します。

「12CPI」に設定すると、1 インチに 12 桁印刷します。

「15CPI」に設定すると、1 インチに 15 桁印刷します。

「10 ～ 200」に設定すると、1 行に印刷する文字数を 10 ～ 200 の範囲で設定します。「10」を選択してから［►］を押すと行数が増え、［◄］を押すと桁数が減ります。

自動改ページ

スル、シナイ

印字位置が有効印字領域の下端を超えようとしたとき、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページして印刷するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、コンピュータから改ページコード（FF）が送られるまで印字位置を変更しません。

自動改行

スル、シナイ

印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行して印刷するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、コンピュータから復帰コード（CR)、改行コード（LF）が送られるまで印字位置を変更しません。

CR 機能

CR ノミ、CR+LF

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「CR ノミ」に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置をその行の第一文字目（左マージン）に移動します。

「CR ＋ LF」に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

LF機能

LFノミ、LF+CR

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF ノミ」に設定すると、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行に移動します。桁位置はそのままです。

「LF ＋ CR」に設定すると、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

網かけ解像度

クイック、ファイン

網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

「クイック」に設定すると、300dpi 用にデザインされたパターンを 2 倍に拡大して使用します。

「ファイン」に設定すると、600dpi 用にデザインされたパターンを使用します。「クイック」よりも高精度で印刷できます。

ジョブタイムアウト

シナイ、スル

共通セットアップメニューの「タイムアウト」（➞P.3-28）の設定を有効にするかどうかを設定します。

メモ　LIPS 対応のアプリケーションソフトから ESC/P などの他のエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われない場合に、本項目を「スル」に設定すると、タイムアウトで LIPS モードのジョブを終了して自動切り替えが行われるようになります。

白紙節約

スル、シナイ

アプリケーションソフトから送られた改ページコード（FF）と改ページコードの間に印字するデータがない場合、そのページを白紙で排出するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、白紙を排出しません。「シナイ」に設定すると、白紙を排出します。

この機能を使用すると、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

LIPS LX セットアップメニューの設定項目

LIPS LX セットアップメニューでは、白紙節約について設定できます。

メモ　LIPS LX セットアップメニューの設定は、コントロールコマンドで LIPS LX を使用しているときのみ有効です。

白紙節約

スル、シナイ

アプリケーションソフトから送られたページデータの中に印字するデータがない場合、そのページを白紙で排出するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、白紙を排出しません。「シナイ」に設定すると、白紙を排出します。

この機能を使用すると、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

5
CHAPTER

この章では、ESC/P エミュレーションモードに固有の ESC/P 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。

ESC/P専用セットアップメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目は、他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ ページレイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
ページフォーマット	**ジッスン　タテ**、ジッスン　ヨコ、10"→A4　タテ、15"→A4　ヨコ、15"→B4　ヨコ、B4→A4　タテ、B4→A4　ヨコ	P.5-4
上余白	-127～**0**～127	P.5-6
用紙位置微調整	-127～**0**～127	P.5-7
領域	**ヒョウジュン**、ワイド	P.5-9
右マージン既定値	**136ケタ**、ミギハシ	P.5-9
用紙サイズ	**A4**、B5、A5、ハガキ、A3、B4	P.5-9
2ページ印刷設定	**シナイ**、ヒダリ、ミギ	P.5-10

■ フォントグループ

設定項目	設定値	参照ページ
漢字書体	**ミンチョウ**、ゴシック、ID	P.5-11
フォントID*	1～**2**～999	P.5-11
漢字サイズ	**システム**、8ポイント、10ポイント、12ポイント	P.5-11
文字コード	**カタカナ**、グラフィックス	P.5-12
国別文字	**ニホン**、ノルウェー、デンマーク2、スペイン2、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン	P.5-12

■ 印字機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
イメージの補正	**シナイ**、スル	P.5-13
縮小文字	**シナイ**、スル	P.5-13

■ 印字動作グループ

設定項目	設定値	参照ページ
改行機能	**LF コマンドヲマツ**、カイギョウ	P.5-14

■ VFC グループ

設定項目	設定値	参照ページ
連続用紙長	**システム**、1 ギョウ〜 199 ギョウ	P.5-15
単票用紙長	**システム**、1 ギョウ〜 199 ギョウ	P.5-16
ミシン目スキップ	**シナイ**、1 ギョウ〜 31 ギョウ	P.5-16

■ その他のグループ

設定項目	設定値	参照ページ
登録レベル	**イチジ**、エイキュウ	P.5-17

ページレイアウトグループの設定項目

ページレイアウトグループでは、ESC/P 準拠プリンタから本プリンタへの用紙サイズの変換と、印刷する用紙サイズの設定や位置の調整などについて設定できます。

ページフォーマット

ジッスン　タテ、ジッスン　ヨコ、10" → A4　タテ、15" → A4　ヨコ、15" → B4　ヨコ、B4 → A4　タテ、B4 → A4　ヨコ

ESC/P 準拠プリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンタ用の用紙サイズに変換します。

アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」(➞P.8-8) も併せて参照してください。なお、本プリンタにセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(➞P.5-9) で設定します。

各設定値を設定した場合の処理は次のようになります。

メモ　用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

「ジッスン　タテ」:(実寸縦)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸で印刷します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙を ESC/P 準拠プリンタに縦置きにセットしたときと同じ印刷結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(➞P.5-9) は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- 「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」(➞P.5-9) を参照してください。

「ジッスン　ヨコ」:(実寸横)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸で印刷します。A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズのカット紙を ESC/P 準拠プリンタに横置きにセットしたときと同じ印刷結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(➞P.5-9) は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- 「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」(➞P.5-9) を参照してください。

「10" → A4　タテ」：（10" → A4 縦）

10" × 11" 連続用紙に印刷することを想定して作成したデータ（80 文字× 66 行）を A4 サイズに縮小してポートレイトで印刷します。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（➞P.5-9）は A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（➞P.5-9）を参照してください。
- 10" × 11" 連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。

「15" → A4　ヨコ」：（15" → A4 横）

15" × 11" 連続用紙に印刷することを想定して作成したデータ（136 文字× 66 行）を A4 サイズに縮小してランドスケープで印刷します。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（➞P.5-9）は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（➞P.5-9）を参照してください。
- 15" × 11" 連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。

「15" → B4　ヨコ」：（15" → B4 横）

15" × 11" 連続用紙に印刷することを想定して作成したデータ（136 文字× 66 行）を B4 サイズに縮小してランドスケープで印刷します。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（➞P.5-9）は、B4 サイズが基本ですが、A3 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（➞P.5-9）を参照してください。
- 15" × 11" 連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。

「B4 → A4　タテ」：（B4 → A4 縦）

B4 サイズの実寸縦用のデータを 3/4 のサイズに縮小して A4 サイズのポートレイトで印刷します。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（➞P.5-9）は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（➞P.5-9）を参照してください。

「B4 → A4　ヨコ」：（B4 → A4 横）

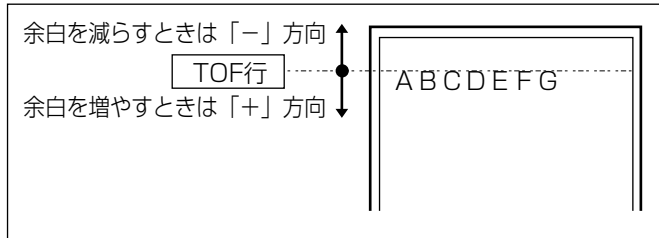
B4 サイズの実寸横用のデータを 3/4 のサイズに縮小して A4 サイズのランドスケープで印刷します。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」（➞P.5-9）は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げて印刷する「ワイド領域モード」を設定できます。詳しくは、「領域」（➞P.5-9）を参照してください。

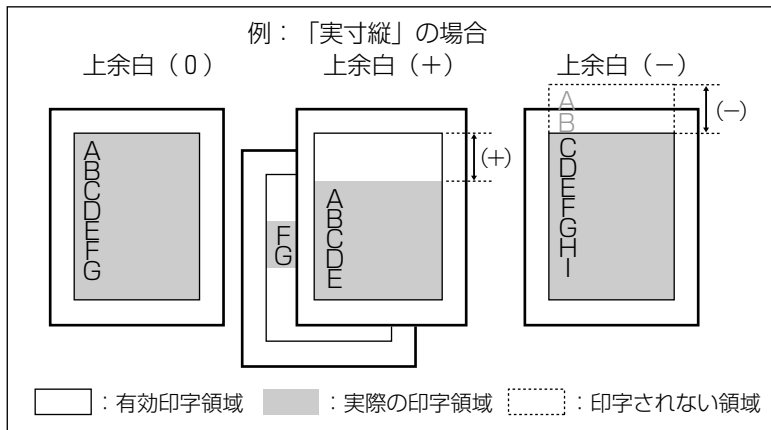
上余白

-127 ～ 0 ～ 127

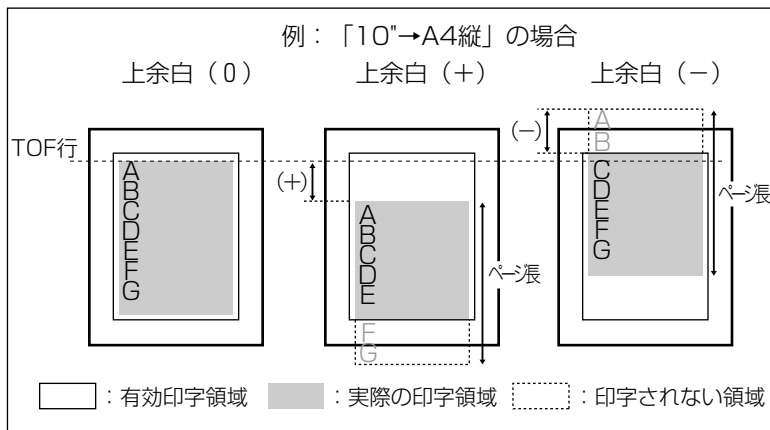
それぞれのページフォーマットで設定されている 1 行目（TOF）の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

「+」の値で下方向、「−」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

メモ
- 設定値が 1 増えると、ずらす位置が約 0.35mm（1/72"）増えます。
- 用紙の上端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で -23mm、「0」で +22mm、「127」で +67mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域によって印字開始位置は変わります。

カット紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

メモ
- 上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を超える場合は、次ページの 1 行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

連続用紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

メモ

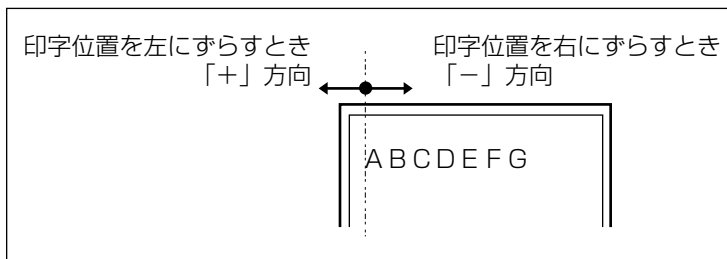
- 上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の1行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータは印刷されません。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータは印刷されません。このとき、下端はページ長までのデータを印刷します。

用紙位置微調整

-127～**0**～127

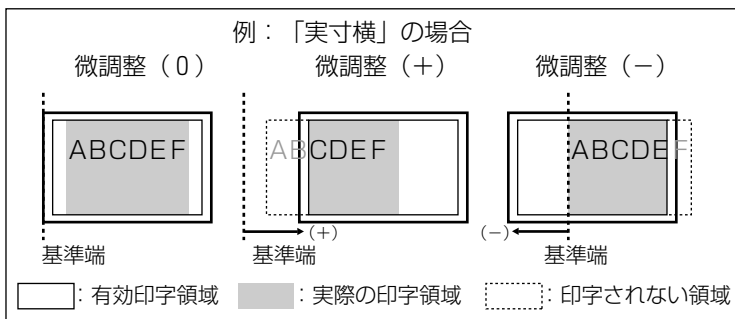
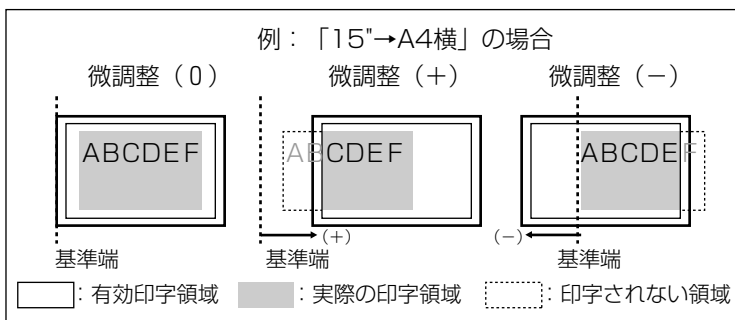
用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

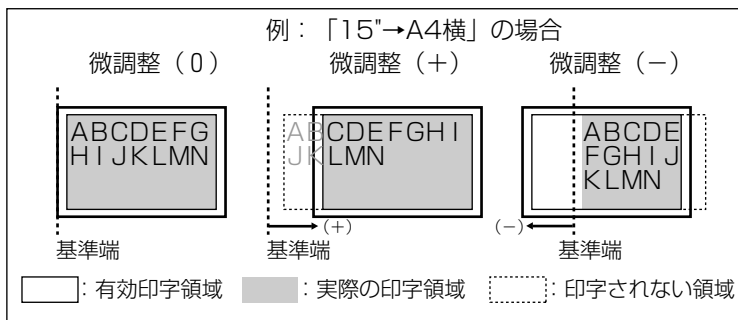
「＋」の値で左方向、「－」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。

メモ

- 設定値が1増えると、ずらす位置が約0.35mm（1/72"）増えます。
- 用紙の左端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で+50mm、「0」で+5mm、「127」で-40mmです。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域モードによって印字開始位置が変わります。
- データに左端が欠けて印刷される場合は、本項目の設定を調節して本プリンタの印字領域内（上下左右5mm以内）に入るようにしてください。

標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

• 実寸サイズで印刷するページフォーマットの場合

• 縮小印刷するページフォーマットの場合

ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

領域

ヒョウジュン、ワイド

それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトで印刷する（標準）か、または本プリンタの有効印字領域ほぼいっぱいに印刷する（ワイド）かを設定します。実寸縦、実寸横で「用紙サイズ」が A3 のとき、および 10" → A4 縦、15" → A4 横、15" → B4 横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横のページフォーマットの場合に有効です。

ワイドに設定して印刷した場合、ESC/P 準拠プリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使って印刷することができます。レイアウトについては、「ESC/P エミュレーションのページフォーマット」（→P.8-8）も併せて参照してください。

メモ　用紙のサイズが小さい場合、「ワイド」に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。詳しくは、「ページフォーマットと印字範囲」（→P.8-13）を参照してください。

右マージン既定値

136 ケタ、ミギハシ

実寸サイズで印刷するページフォーマット（実寸縦、実寸横）のときの、右マージンの位置を設定します。

「136 ケタ」に設定すると、136 桁目の位置を右マージンとします。

「ミギハシ」に設定すると、用紙の有効印字領域の右端を右マージンとします。

用紙サイズ

A4、B5、A5、ハガキ、A3、B4

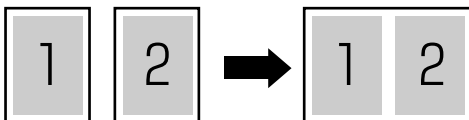
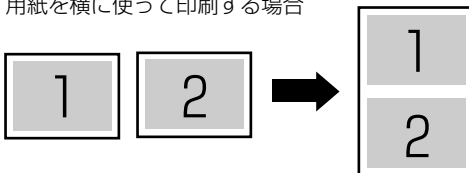
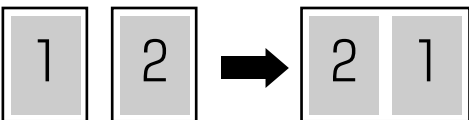
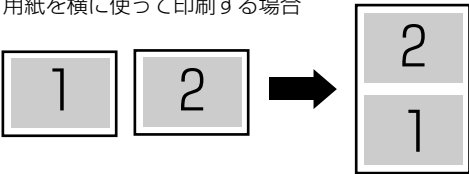
印刷する用紙のサイズを設定します。

メモ　本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。

2 ページ印刷設定

シナイ、ヒダリ、ミギ

2 ページ分のデータを並べて 1 ページに印刷するかどうかを設定します。アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 または B5 サイズの場合に限り有効です。

「ヒダリ」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べて印刷します。

「ミギ」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べて印刷します。

メモ

- この機能では、縮小はせずに原寸で印刷するので、アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 サイズのときは A3 サイズの用紙に印刷され、B5 サイズのときは B4 サイズの用紙に印刷されます。
- A4 と B5 サイズのデータを並べて 1 ページに印刷することはできません。
- A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態で印刷されます。

フォントグループの設定項目

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1 バイトコード表などについて設定できます。

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック、ID

漢字などの全角文字の書体を設定します。

オプションで追加した漢字書体を使用するときは、本項目を「ID」に設定したうえで、書体を ID 番号で指定します。ID 番号は「フォント ID」（➞P.5-11）で指定します。

明朝体	明朝
ゴシック体	ゴシック

フォント ID

1 ～ **2** ～ 999

* 本項目は、「漢字書体」を「ID」に設定した場合にのみ表示されます。

「漢字書体」（➞P.5-11）で「ID」を設定した場合に、実際に使用する書体の ID 番号を指定します。

重要　装着されていないオプション書体の番号を指定しないでください。

メモ　標準フォントの ID 番号は以下の通りです。

明朝体	002
ゴシック体	004

オプションフォント用の ID 番号については、使用するオプションフォントのマニュアルを参照してください。

漢字サイズ

システム、8 ポイント、10 ポイント、12 ポイント

漢字などの全角文字のサイズを設定します。

「システム」に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズで印刷します。実寸縦、実寸横、10" → A4 縦、15" → B4 横のページフォーマットでは 10 ポイント相当、15" → A4 横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横のページフォーマットでは 8 ポイント相当です。

文字コード

カタカナ、グラフィックス

１バイトコード表に、カタカナまたは拡張グラフィックスの文字セットをセットします。

「カタカナ」に設定すると、データに１バイトコードの文字があったとき、カタカナの１バイトコード表に対応した文字で印刷します。

「グラフィックス」に設定すると、データに１バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの１バイトコード表に対応した文字で印刷します。

メモ　この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの文字コード設定機能に対応しています。

国別文字

ニホン、ノルウェー、デンマーク２、スペイン２、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン

１バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、指定の国の文字セットをセットします。

印字機能グループの設定項目

印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字について設定できます。

イメージの補正

シナイ、スル

矩形罫線や網かけなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は「シナイ」に設定しておきます。次のような現象が出てしまうときに、本項目を「スル」に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が離れる
- 網かけ上にすじ（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る

メモ　本項目を「スル」に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本プリンタの解像度が ESC/P 準拠プリンタとは異なるためです。

縮小文字

シナイ、スル

1バイトコード文字（ANK 文字）を縮小して印刷するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、1バイトコード文字の横幅を 1/2 程度に縮小して印刷します。

メモ

- この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの縮小印字機能に対応しています。
- 15CPI の文字は縮小印刷されません。

印字動作グループの設定項目

印字動作グループでは、1 行を印字したあとの改行動作について設定できます。

改行機能

LF コマンドヲマツ、カイギョウ

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF コマンドヲマツ」に設定すると、コンピュータから改行コード（LF）が送られるまで改行しません。復帰のみ行い、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。

「カイギョウ」に設定すると、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、改行コード（LF）を受信しなくても復帰／改行を行い、自動的に次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

メモ　この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの自動改行に対応しています。

VFC グループの設定項目

VFC グループは、連続用紙やカット紙のページ長について設定できます。

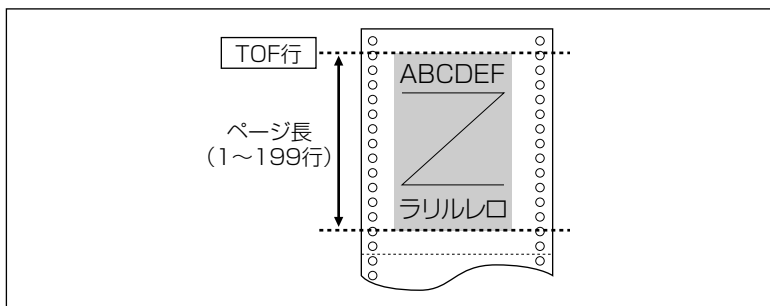
連続用紙長

システム、1 ギョウ～ 199 ギョウ

連続用紙（10" → A4 縦、15" → A4 横、15" → B4 横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

「システム」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「1 ギョウ」～「199 ギョウ」に設定すると、1 ページに印刷する行数を 1 ～ 199 行の範囲で設定します。

メモ

- 行間は 1 インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2mm（1/6"）増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

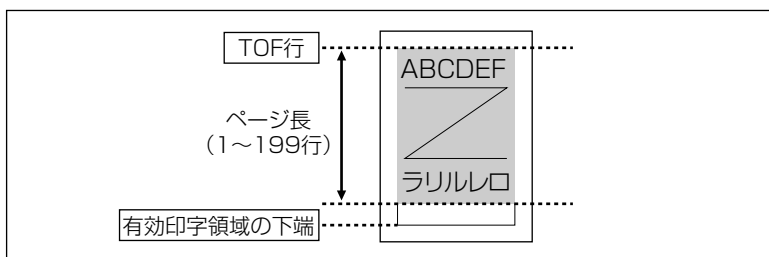
単票用紙長

システム、1 ギョウ～ 199 ギョウ

カット紙（実寸縦、実寸横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

「システム」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「1 ギョウ」～「199 ギョウ」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199 行の範囲で設定します。

メモ

- 行間は1インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2mm（1/6"）増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

シナイ、1 ギョウ～ 31 ギョウ

ページ長で設定されている行数のうち、下端から印刷しない（スキップする）行数を設定します。

「シナイ」に設定すると、スキップしません。

メモ

- 行間は1インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、スキップされる領域が約 4.2mm（1/6"）増えます。
- 10"→A4 縦、15"→A4 横、15"→B4 横の連続用紙のページフォーマットと、B4→A4 縦、B4→A4 横のワイドモードで有効です。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

その他のグループの設定項目

その他のグループでは、登録文字の保存方法について設定できます。

登録レベル

イチジ、エイキュウ

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ保存するのか、電源をオフにするまで保存するのかを設定します。

「イチジ」に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

「エイキュウ」に設定すると、プリンタの電源をオフにするまで保存します。登録内容を削除するには、オフライン状態で［リセット］を押し、［►］または［◄］で「ソフト　リセット」を表示させ、「ハード　リセット」と表示されるまで［OK］を押し続けてハードリセット操作を行います。

メモ

- プリンタはデータを受信すると、コントロールコマンドを認識して印刷を開始／終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- 登録データと通常のデータとを別々に送信する場合は、「エイキュウ」に設定してください。

IMAGING 専用セットアップメニューの設定項目

6
CHAPTER

この章では、ダイレクトプリントを使用するときに有効な IMAGING 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。

IMAGING 専用セットアップメニュー設定項目一覧

■ 表の見かた

太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

設定項目	設定値	参照ページ
画像の向き	**ジドウ**、タテ、ヨコ	P.6-3
拡大／縮小	**シナイ**、ジドウ	P.6-3
印字位置	**ジドウ**、チュウオウ、ヒダリウエ	P.6-4
警告表示	**インサツ**、パネル、シナイ	P.6-4
印字領域拡大	**シナイ**、スル	P.6-4

IMAGING 専用セットアップメニューの設定項目

IMAGING 専用セットアップメニューでは、画像の向きや拡大／縮小印刷などについて設定できます。

画像の向き

ジドウ、タテ、ヨコ

画像を縦方向に印刷するか、横方向に印刷するかを設定します。

「ジドウ」に設定すると、TIFF または JPEG データの画像の幅と高さを比較して、幅が大きければ、画像の向きを横に印刷します。高さが大きければ、画像の向きを縦に印刷します。

「タテ」に設定すると、画像の幅と高さの比率に関係なく、画像を縦に印刷します。

「ヨコ」に設定すると、画像の幅と高さの比率に関係なく、画像を横に印刷します。

拡大／縮小

シナイ、ジドウ

有効印字領域に合わせて、拡大または縮小するかどうかの設定をします。

「ジドウ」に設定すると、画像のサイズが有効印字領域よりも大きい場合、有効印字領域におさまるように画像を縮小して印刷します。また、画像のサイズが有効印字領域よりも小さい場合、有効印字領域いっぱいに画像を拡大して印刷します。

重要
- 「シナイ」に設定した場合でも、出力用紙サイズより画像が大きい場合は印刷する用紙サイズの有効印字領域に画像がおさまるように自動的に縮小します。
- 「ジドウ」に設定すると、TIFF 形式のデータが持つ Tag が指定する印字位置は無視されます。

メモ
本項目では、縦と横の比率を固定して、画像を拡大または縮小します。

印字位置

ジドウ、チュウオウ、ヒダリウエ

画像をどの位置に印字するかを設定します。

「ジドウ」に設定すると、TIFF 形式のデータで印字位置が指定されている場合は、指定された位置に印字します。印字位置が指定されていない場合は、中央に印字します。

「チュウオウ」に設定すると、TIFF 形式のデータで印字位置が指定されていても、中央の位置に印刷します。

「ヒダリウエ」に設定すると、TIFF 形式のデータで印字位置が指定されていても、左上の位置に印刷します。

重要　JPEG 形式のデータには印字位置の指定がありません。「ジドウ」に設定した場合は、中央に印刷されます。

警告表示

インサツ、パネル、シナイ

エラー発生時のエラーの表示方法を設定します。

「インサツ」に設定すると、エラーの内容を印刷しジョブを終了します。

「パネル」に設定すると、ディスプレイにエラーメッセージが表示され印刷を停止します。

「シナイ」に設定すると、エラーが発生しても何も表示を行わずにジョブを終了します。

メモ　本項目によりエラーの表示方法を変更できるのは、「D9　IMG　データ　エラー」および「D9　IMG　サンショウ　エラー」です。

印字領域拡大

シナイ、スル

印字領域を広げて印刷するかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、有効印字領域は上下左右とも余白が 0mm となり、有効印字領域が用紙の端まで拡大されます。

「シナイ」に設定すると、上下左右とも周囲 5mm を除いた範囲が有効印字領域となります。

重要　「スル」に設定した場合、用紙の周囲の画像が欠ける場合があります。

セットアップ以外のメニューの設定項目

7

CHAPTER

この章では、セットアップメニュー以外のメニューで設定できる内容について説明しています。

セットアップ以外のメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印の付いている項目や設定値は、オプション品の有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 「★」印が付いている項目や設定値は、LBP3970 のみ表示されます。
- 太字で表示されている項目は、工場出荷時の値です。

■ ユーティリティメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ステータスプリント	–	P.7-4
LIPS ユーティリティ	ステータスプリント、フォント　リスト、オーバレイ　リスト、マクロ　リスト、フォーム　リスト、オーバレイ　プリント	P.7-4
N201 ユーティリティ *	ステータスプリント	P.7-5
ESC/P ユーティリティ	ステータスプリント	P.7-5
I5577 ユーティリティ *	ステータスプリント、オーバレイ　プリント	P.7-5
HP-GL ユーティリティ *	ステータスプリント、サンプルプリント	P.7-6
クリーニング	–	P.7-6
N/W ステータスプリント	–	P.7-7
拡張カードリスト	–	P.7-7
印字位置プリント	–	P.7-7

■ ジョブメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ジョブ履歴リスト	–	P.7-8
レポート履歴リスト	–	P.7-8

■ リセットメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ソフトリセット／ハードリセット	–	P.7-9
排出	–	P.7-10

■ 給紙選択メニュー

設定項目	設定値	参照ページ
給紙モード	**ジドウ**、カセット 1、カセット2*、カセット 3*★、カセット 4*★、テザシトレイ	P.7-11
手差しトレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、レター、レター R、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、フリー、ユーザセッテイサイズ、ユーザセッテイサイズ R、ハガキ、オウフク　ハガキ、4 メン　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5	P.7-12
カセットN（N=1、2、3★、4★）用紙サイズ*	**ユーザセッテイサイズ**、ユーザセッテイサイズ R、フリー	P.7-12
両面印刷 *	**シナイ**、スル	P.7-12

ユーティリティメニューの設定項目

ユーティリティメニューでは、プリンタ内部の状態や、搭載されているフォントなどの情報を印刷することができます。

メモ　共通ステータスプリント、N/W ステータスプリント、印字位置プリントの出力サンプルについては、「動作モード共通のリスト」（➞P.8-17）を参照してください。LIPS のステータスプリントとフォントリスト、ESC/P のステータスプリントの出力サンプルについては、「動作モード専用のリスト」（➞P.8-19）を参照してください。

ステータスプリント（共通ステータスプリント）

–

搭載しているメモリ（RAM）の容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などが印刷されます。動作モードに関係なく選択できます。

メモ　ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

LIPS ユーティリティ（LIPS 専用ユーティリティ）

ステータスプリント、フォント　リスト、オーバレイ　リスト、マクロ　リスト、フォーム　リスト、オーバレイ　プリント

LIPS モードでのプリンタの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

LIPS 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「フォント　リスト」

LIPS モードで使用できるフォントの一覧が印刷されます。

「オーバレイ　リスト」

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータの番号とサイズなどを一覧にして印刷します。登録されているフォーマットデータがない場合は、何も印刷されません。

「マクロ　リスト」

マクロ領域に登録されているマクロの番号とサイズを一覧にして印刷します。登録されているマクロがない場合は、何も印刷されません。

「フォーム　リスト」

フォーム領域に登録されているフォームの名称とサイズを一覧にして印刷します。登録されているフォームデータがない場合は、何も印刷されません。

「オーバレイ　プリント」

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、LIPS 専用セットアップメニューのオーバレイ 1、2 に設定されている番号のオーバレイの内容が印刷されます。オーバレイ 1、2 ともに設定されている場合は、両方の内容が印刷されます。設定されていない場合は何も印刷されません。

メモ　各リストは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

N201 ユーティリティ（N201 専用ユーティリティ）

ステータスプリント

*　本項目は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ表示されます。

N201 エミュレーションモードでのプリンタの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

N201 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

メモ　ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

ESC/P ユーティリティ（ESC/P 専用ユーティリティ）

ステータスプリント

ESC/P エミュレーションモードでのプリンタの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

ESC/P 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

メモ　ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

I5577 ユーティリティ（I5577 専用ユーティリティ）

ステータスプリント、オーバレイ　プリント

*　本項目は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ表示されます。

I5577 エミュレーションモードでのプリンタの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

I5577 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「オーバレイ　プリント」

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、I5577 専用セットアップメニューのユーザオーバレイ 1、2 に設定されている番号のオーバレイの内容が印刷されます。ユーザオーバレイ 1、2 ともに設定されている場合は、両方の内容が印刷されます。設定されていない場合は何も印刷されません。

メモ　各リストは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

HP-GL ユーティリティ（HP-GL 専用ユーティリティ）

ステータスプリント、サンプルプリント

*　本項目は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ表示されます。

HP-GL エミュレーションモードでのプリンタの内部情報を印刷します。

「ステータスプリント」

HP-GL 専用セットアップメニューで設定した内容が印刷されます。

「サンプルプリント」

HP-GL エミュレーションモードのいろいろな機能を使用したサンプルデータが印刷されます。

メモ　ステータスプリントは、A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

クリーニング

ー

クリーニング用紙を印刷して、定着ローラのクリーニングを行います。

クリーニングを実行すると、ディスプレイに「クリーニング　ヨウシ」と表示されますので、手差しトレイに A4 サイズの用紙を横置きにセットし、[オンライン] を押します。

クリーニング用紙が印刷されますので、クリーニング用紙の印刷面を下にして手差しトレイにセットし、[オンライン] を押します。セットしたクリーニング用紙が給紙され、クリーニングが行われます。

メモ　定着ローラのクリーニング操作については、ユーザーズガイド「第 4 章日常のメンテナンス」を参照してください。

N/W ステータスプリント

ー

本プリンタに内蔵されているプリントサーバのバージョン、設定内容などが印刷されます。

メモ　N/W ステータスプリントは、 A4 サイズの用紙に印刷します。給紙カセットか手差しトレイに A4 サイズの用紙をセットしてください。

拡張カードリスト

ー

プリンタの拡張ボードスロットに装着した拡張インタフェースボードのバージョン、設定内容などが印刷されます。

印字位置プリント

ー

「印字位置調整」（→P.3-37）で設定した印字位置が印刷されます。印刷結果で「印字位置調整」の設定を確認することができます。

メモ　印字位置調整の操作については、ユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」を参照してください。

ジョブメニューの設定項目

ジョブメニューでは、各種の履歴を印刷することができます。

ジョブ履歴リスト

－

コンピュータから印刷したジョブの履歴を印刷します。

ジョブ履歴リストには、ファイル名や印刷日時などが印刷されます。

メモ
- ジョブの履歴がない場合は、何も印刷されません。
- ジョブ履歴リストには、最大 48 ジョブの履歴が印刷されます。

レポート履歴リスト

－

印刷したステータスプリントや N/W ステータスプリントなどの履歴を印刷します。

レポート履歴リストには、印刷日時などが印刷されます。

メモ
- ジョブの履歴がない場合は、何も印刷されません。
- レポート履歴リストには、最大 16 ジョブの履歴が印刷されます。

リセットメニューの設定項目

リセットメニューでは、プリンタのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンタに残っている印刷データを排出することができます。

ソフトリセット／ハードリセット

ー

トラブルが発生したときや、印刷を中止したいときのプリンタのリセットを行います。

ソフトリセットを行うと、現在実行中の処理の中止やプリンタメモリ内のジョブ、受信した印刷データや処理中のジョブを消去します。ハードリセットを行うと、すべての処理を中止しジョブを消去します。

ソフトリセットを行うには、リセットメニューで「ソフト　リセット」を選択し［OK］を押します。

ハードリセットを行うには、リセットメニューで「ソフト　リセット」を選択し［OK］を 3 秒以上押して「03　ハード　リセット」を表示させ、指をキーから離します。

重要

- ソフトリセットを行うには、必ずコンピュータ側で印刷中止の操作を行ってからにしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、そのとき印刷中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のコンピュータからのデータに影響しないようにリセットを行ってください。
- データの受信中にハードリセットをした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しく印刷されない場合があります。

排出

ー

コンピュータ側で印刷を中止した場合や受信したデータが1ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリに印刷データが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次の印刷ができません。このようなときは、本項目の操作を行って強制的に印刷データを排出してください。

重要
- LIPS/LIPS LX プリンタドライバからの印刷データは排出できません。
- データを排出したときは、印刷中のデータは消されますので、再度コンピュータから印刷しなおしてください。

メモ
- 印刷データがプリンタのメモリに残ったまま、または印刷データがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、1ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- 排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。(➞P.7-9)

給紙選択メニューの設定項目

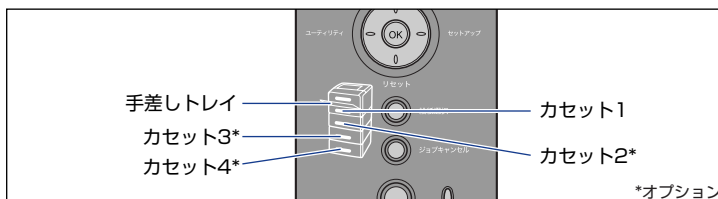
給紙選択メニューでは、どの給紙元から給紙するかや、手差しトレイにセットする用紙サイズを設定することができます。

給紙モード

ジドウ、カセット 1、カセット2*1、カセット 3*2、カセット 4*2、テザシトレイ

*1「カセット 2」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

*2「カセット 3」、「カセット 4」は、LBP3970 にオプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

給紙するカセットやトレイなどを選択します。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

メモ

- 装着しているカセット、手差しトレイは、通常は自動給紙選択の対象となりますが、対象から外すこともできます。
- 自動給紙選択で、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプに関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。
- 「用紙不一致時トレイ」(→P.3-17)が「ツカウ」に設定されている場合は、本項目の設定は無視され、給紙元の対象となっている給紙カセットに受信したデータの用紙がセットされていない場合は、手差しトレイから給紙します。
- 手差しトレイから給紙する場合は、セットした用紙のサイズをあらかじめ設定しておく必要があります。工場出荷時の設定は、「A4」に設定されています。

手差しトレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、レター、レターR、リーガル、レジャー、エグゼクティブ、フリー、ユーザセッテイサイズ、ユーザセッテイサイズR、ハガキ、オウフク　ハガキ、4メン　ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　Y2、フウトウ　K2、A5、B5

手差しトレイにセットした用紙サイズを設定します。

共通セットアップメニューの給紙グループの「手差しトレイ用紙サイズ」(➞P.3-15)でも同様の設定ができます。設定内容については、「手差しトレイ用紙サイズ」(➞P.3-15)を参照してください。

カセットN(N=1、2、3、4)用紙サイズ

ユーザセッテイサイズ、ユーザセッテイサイズR、フリー

* 「カセット1用紙サイズ」は、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

* 「カセット2用紙サイズ」は、オプションのペーパーフィーダが装着されていて、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

* 「カセット3用紙サイズ」、「カセット4用紙サイズ」は、LBP3970にオプションのペーパーフィーダが装着されていて、用紙サイズ登録ダイヤルが「Custom」に設定されている場合のみ表示されます。

給紙カセット(カセット1、2、3、4)にセットした用紙サイズを設定します。

共通セットアップメニューの給紙グループの「カセットN(N=1、2、3、4)用紙サイズ」でも同様の設定ができます(➞P.3-16)。設定内容については、「カセットN(N=1、2、3、4)用紙サイズ」(➞P.3-16)を参照してください。

両面印刷

シナイ、スル

* 本項目は、オプションの両面ユニットを装着している場合にのみ表示されます。

用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。

共通セットアップメニューの給紙グループの「両面印刷」(➞P.3-19)でも同様の設定ができます。設定内容については、「両面印刷」(➞P.3-19)を参照してください。

8

CHAPTER

付録

この章では、LIPS、ESC/P の各モードの参考情報や各種リストの内容などについて説明しています。

文字セットコード表とコントロールコマンドリストについて

文字セットコード表

本プリンタ内蔵フォントのコード表（LIPS、ESC/P）が、本プリンタ付属のCD-ROMの［FONTLIST］フォルダに収められています。詳しくは、［FONTLIST］フォルダ内のReadmeファイルを参照してください。

コントロールコマンドリスト

本プリンタが標準で対応している2つのコントロールコマンド（LIPS、ESC/Pエミュレーション）の機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本プリンタ付属のCD-ROMの［COMLIST］フォルダに収められています。LIPSコントロールコマンドは［LIPSCONT.TXT］というファイル名で、ESC/Pエミュレーションコントロールコマンドは［ESCPCONT.TXT］というファイル名で入っています。テキストファイルですので、テキストエディタなどを使ってご覧ください。

メモ　LIPSコントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

内蔵フォントIDについて

本プリンタに内蔵されているフォントの ID番号は以下の通りです。

フォント名称	フォントID	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij

LIPS 内蔵フォント

■ 文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

- 書体
  書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンタ」「ガーランド」など多数の種類があります。
- グラフィックセット
  あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。
- 文字ピッチ
  文字を印刷する間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（1インチあたりの文字数)」で示され、コマンドで固定した文字ピッチで印刷されます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。
- サイズ
  文字の大きさをポイント数で示します。単位は「ポイント」で示します。1ポイントは約0.35mm（1/72"）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。
- スタイル
  スタイルには「直立体（Upright)」と「イタリック体（Italic)」があります。
- 太さ
  文字の太さには「標準（Medium)」「ボールド（Bold)」「ライト（Light)」があります。

■ LIPS II$^+$内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） ALP10.XXX → ALP10.ROMA

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ラインプリンタ	ALP10 . X X X	ROMA N_USA	10.00	12.00	直立体	標準
	ALP15 . X X X	N_JPN KATA	15.00	7.20		
	ALP1125 . X X X		11.25	9.60		
明朝体	A1224M . X X X	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632M . X X X	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040M . X X X	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412M . X X X	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216M . X X X	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020M . X X X		6.00	6.00		
ゴシック体	A1224G . X X X	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632G . X X X	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040G . X X X	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412G . X X X	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216G . X X X	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020G . X X X		6.00	6.00		
Garland	Garland10 . X X X	ROMA N_Jpn	10.00	10.80	直立体	標準
	Garland12 . X X X	N / USA N / GER	12.00			
	Garland17 . X X X	N / SWD N / JPN	17.15			
	GarlandPS11 . X X X	N / UK N_UK	プロポーショナル			
		N_USA N_SWD				
		N_JPN N_GER				
		N_KATA N_HIRA				
		N_GRF				

2 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	K24M . X X X	J78 J83	10.00	7.20	直立体	標準
	K32M . X X X		7.50	9.60		
	K40M . X X X		6.00	12.00		
ゴシック体	K24G . X X X		10.00	7.20		
	K32G . X X X		7.50	9.60		
	K40G . X X X		6.00	12.00		

■ LIPS III ／ IV 内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） Ncourier10.XXX → Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「*① ～ ⑥」については、次ページの表を参照してください。

1 バイトビットマップフォント

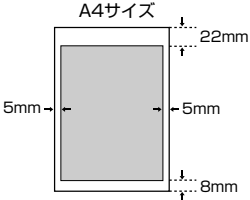
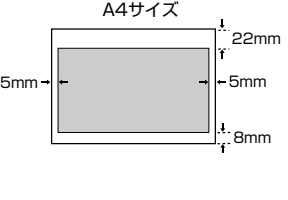
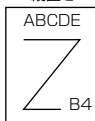
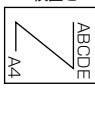
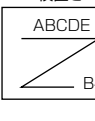
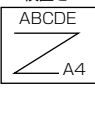
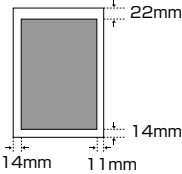
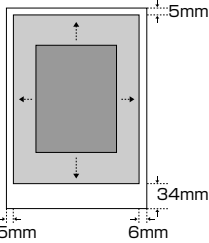
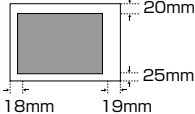
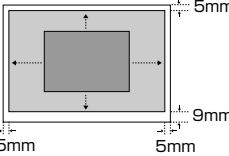
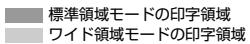
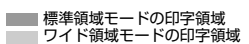
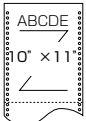
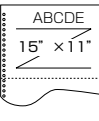
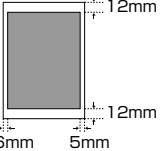
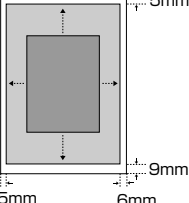
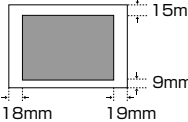
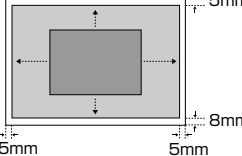
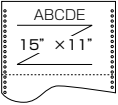
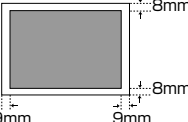
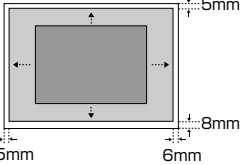
書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier10 . X X X	*①②③④	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10 I . X X X				イタリック体	
	Ncourier10 B . X X X				直立体	ボールド
	Ncourier15 . X X X	*①②③	15.00	8.16		標準
	Ncourier17 . X X X	*④	16.66	8.16		
	Ncourier20 . X X X	*①②③	20.00	7.20		
		*④	13.60	8.16		

1 バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ゴシック体	Gothic-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ラインプリンタ	LinePrinter-Bold .XXX	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド
Courier	Ncourier .XXX	*①②③⑤⑥	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Ncourier-Bold .XXX					ボールド
	Ncourier-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Ncourier-BoldItalic .XXX					ボールド
Swiss	Swiss .XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold .XXX					ボールド
	Swiss-Oblique .XXX				イタリック体	標準
	Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド
Dutch	Dutch-Roman .XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold .XXX					ボールド
	Dutch-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Dutch-BoldItalic .XXX					ボールド
Symbol	Symbol .XXX	SYML SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準

メモ　1 バイトビットマップフォント表と 1 バイトスケーラブルフォント表の「*① ～ ⑥」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

①	ISO_UK ISO_USA ISO_S/F ISO_N/D ISO_JPN ISO_GER ISO_FRC ISO_ITY ISO_SPN
②	88_UK 92_NL 92_UK 92_SWD 92_GER 92_FRC 96M_UK 96M_USA 96M_S/F 96M_N/D 96M_GER 96M_FRC 96X_USA 96P_UK 96P_USA 96P_S/F 96P_NOR 96P_GER 96P_FRC
③	CN_CND CN_NL CN_SWS CN_UK CN_USA CN_SWD CN_N/D CN_JPN CN_GER CN_FRC
④	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBML
⑤	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBM819 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBM1004 IBML IBML2 Win31L Win31R TURKISH
⑥	PSR PSL

2 バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
角ゴシック体	Gothic-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

ESC/P エミュレーションのページフォーマット

ESC/P エミュレーションモードで印刷するときのページフォーマットは、以下のとおりです。

メモ

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタ側の用紙サイズも変更します。ESC/P 設定メニューの「用紙サイズ」（➞P.5-9）で設定します。
- 「実寸縦」、「実寸横」で ESC/P 専用セットアップメニューの「用紙サイズ」を「A3」に設定している場合、および「10" → A4 縦」、「15" → A4 横」、「15" → B4 横」、「B4 → A4 縦」、「B4 → A4 横」では、用紙の余白を有効に使って印刷できるワイド領域モードが使えます。
- 10"× 11" の連続用紙の 1 ページあたりのサイズは、254mm × 279.4mm です。15"× 11" の連続用紙の 1 ページあたりのサイズは、381mm × 279.4mm です。

■ ESC/P エミュレーションのページフォーマット

設定値名	実寸縦	実寸横
ページフォーマット	カット紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ：縦置き ABCDE 本プリンタ：縦置き ABCDE／横置き ABCDE ESC/P準拠プリンタにカット紙を縦置きにセットして印刷するときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトで印刷します。	ESC/P準拠プリンタ：横置き ABCDE 本プリンタ：縦置き ABCDE／横置き ABCDE ESC/P準拠プリンタにカット紙を横置きにセットして印刷するときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープで印刷します。
用紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズ。A3サイズに印刷するときにワイド領域モードを設定できます。	「実寸縦」と同じです。
印字文字	初期状態で10ポイントのフォント	「実寸縦」と同じです。
イメージの印字	プリンタの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンタとは印字結果が若干異なります。	「実寸縦」と同じです。
印字領域	A4サイズ 22mm 5mm　5mm 8mm 印字領域	A4サイズ 22mm 5mm　5mm 8mm 印字領域
第一文字目の印字位置	先頭行（TOF行）の左マージン位置です。	「実寸縦」と同じです。
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6”）またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）	「実寸縦」と同じです。
ボトム位置	ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。	「実寸縦」と同じです。

B4→A4縦		B4→A4横	
カット紙の場合のページフォーマット			
ESC/P準拠プリンタ	本プリンタ	ESC/P準拠プリンタ	本プリンタ
縦置き ABCDE B4	縦置き ABCDE A4 / 横置き ABCDE A4	横置き ABCDE B4	縦置き ABCDE A4 / 横置き ABCDE A4
ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を縦置きにセットして印刷するときのフォーマット。A4サイズに縮小し用紙のほぼ中央（ワイド領域では有効印字領域ほぼいっぱい）に、ポートレイトで印刷します。		ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を横置きにセットして印刷するときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）に、ランドスケープで印刷します。	
A3、B4、A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません）。 A3、B4サイズを使用した場合でも、A4サイズと同じ比率で縮小され印刷します。		「B4→A4縦」と同じです。	
初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。		「B4→A4縦」と同じです。	
プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります。		「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード（A4サイズの場合） 22mm 14mm 14mm 11mm ワイド領域モード（A3サイズの場合） 5mm 34mm 5mm 6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域		標準領域モード（A4サイズの場合） 20mm 25mm 18mm 19mm ワイド領域モード（A3サイズの場合） 5mm 9mm 5mm 5mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	
標準領域モード：（TOF行）の左マージン位置です。		「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6”）です。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません） **ワイド領域モード**：印字領域は本機の有効印字領域とほぼ同じです。		「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード：ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置です。		「B4→A4縦」と同じです。	

設定値名		10”→A4縦	15”→A4横
ページフォーマット		連続用紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ: 10”×11” ／ 本プリンタ: 縦置き・横置き ESC/P準拠プリンタに10”×11”の連続用紙をセットして印刷するときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトで印刷します。	ESC/P準拠プリンタ: 15”×11” ／ 本プリンタ: 縦置き・横置き ESC/P準拠プリンタに15”×11”の連続用紙をセットして印刷するときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープで印刷します。
用紙サイズ		「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
印字文字		初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字します。	初期状態で8ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。
イメージの印字		「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
印字領域		標準領域モード（A4サイズの場合）: 12mm, 12mm, 6mm, 5mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）: 5mm, 9mm, 5mm, 6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）: 15mm, 9mm, 18mm, 19mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）: 5mm, 8mm, 5mm, 5mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
	第一文字目の印字位置	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
	右マージン	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
	ボトム位置	**標準領域モード**：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では271.8mm｛10.7”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。	**標準領域モード**：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では210.8mm｛8.3”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

15”→B4横	
連続用紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンタ	本機
15”×11” ABCDE 15”×11”	縦置き ABCDE B4
ESC/P準拠プリンタに15”×11”の連続用紙をセットして印刷するときのフォーマット。B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープで印刷します。	
A3、A4サイズ（B4より小さい用紙への印刷は保証しません。） A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率	
初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。	
「B4→A4縦」と同じです。	
「B4→A4縦」と同じです。	
「B4→A4縦」と同じです。	
標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では266.7mm｛10.5”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。	

8

付録

■ ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦	文字数	112	97	78	67	54	35
	行　数	92	78	63	54	42	28
実寸横	文字数	136	136	112	97	78	54
	行　数	63	52	42	36	28	16
10”→A4縦	文字数	80	80	80	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
15”→A4横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
15”→B4横	文字数	136	136	×	×	×	×
	行　数	66	66	×	×	×	×
B4→A4縦	文字数	97	97	97	×	×	×
	行　数	78	78	82	×	×	×
B4→A4横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	52	52	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦	文字数	112	−	−	−	−	−
	行　数	95	−	−	−	−	−
実寸横	文字数	161	−	−	−	−	−
	行　数	66	−	−	−	−	−
10”→A4縦	文字数	115	99	80	×	×	×
	行　数	98	84	68	×	×	×
15”→A4横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	99	85	68	×	×	×
15”→B4横	文字数	161	139	×	×	×	×
	行　数	77	66	×	×	×	×
B4→A4縦	文字数	150	129	104	×	×	×
	行　数	127	109	88	×	×	×
B4→A4横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	88	76	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ダンプリスト

■ ヘキサダンプリスト

動作モード選択で「HEX-DUMP」を選択すると、コンピュータから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16 進コードで印刷します。

1 行に 32 バイトの 16 進コードを印字します。16 進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4 サイズポートレイトでのみ印刷できます。

（操作方法：「動作モードグループの設定項目」→P.3-33）

Version : R0.08/BEP5C25I　　　　Page : 2

00660	E4 76 3D 1F 90 48 64 52	39 24 96 4D 27 94 4A 65	52 B9 64 B6 5D 2F 90 40	40 80 01 E0 50 38 24 16	ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680	0D 07 84 42 61 50 B8 64	36 1D 0F 88 44 62 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 64	.. BaPｸd6.. DbQ8,V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 B9 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 0D 07 84 42 61 50 B8	R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0	64 36 1D 0F 88 44 62 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	64 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8,V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0	4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 0D 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 62	JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 65 52 B9 64 B6 5D	Q8,V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 0D 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	62 51 38 A4 56 2D 17 8C	/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8,V-.
00740	46 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 FE 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ...........
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	91 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00	....................%...........
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00	....
007A0	05 00 00 00 18 06 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00	....
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 06 00 00			....

■ LIPS ダンプリスト

動作モードメニューで「LIPS-DUMP」を選択すると、コンピュータから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPS のコントロールコマンドの形式で印刷します。
現在選択されている給紙元の用紙サイズで印刷します。
(操作方法:「動作モードグループの設定項目」→P.3-33)

```
                         Version : 02.00.R1.00/BEP5D189/FT5D18                Page :  1

00000  ec c  ec P41;600J ec ¥  ec <  ec [11h  ec [?6_I  ec [3000;1.r 72 65 67 72 65 67
00042  72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65

        *** skip 2960 Byte ***

03016  65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67  ec [0;1x  ec [{  ec [0;4x  ec [}  ec [0
03057  ;0x  ec [500;500f  FILE_NAME_--->_HEIGHT.004__T.KAWAI
03104  ec PzMincho-Medium.J78 ec ¥  ec [?350_K  ec [1000_C  ec [3000;4
03150  500f  !v!v!v!!J8;z9b;XDjL?Na!!!v!v!v  ec [?850_K  ec [350
03197  _C  ec [5000;1500f  ec [4m  !vJ8;z9b;XDjL?Na$G;XDj$7$?  ec [
03243  7m  Bg$-$5$NJ8;z$K$J$k$+  ec [27m  !J#2%P%$%H!&%9%1!<%i%
03291  V%k!&%U%)%s%H!K  ec [24m  ec [27500;12000f  ec [5m  #C#O#M#M
```

- 枠囲みパターンについて
  コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位に枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。
- 改行・改ページを示す記号

  | | lf(改行)、vt(垂直タブ)、nl(復帰改行)による改行を伴うコマンド、または ff(改ページ)による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。(例: lf |)

- 異常終了を知らせる記号

  ! 命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16 進コードのダウンロードで 16 進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】
```
            !
00000  ec[   ec[ 5 m  ABCD
```

8 付録

■ LIPS ダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

- ベクタモードの LIPS ダンプリスト
  - ･命令は全角文字で印字されます
  - ･パラメータは 10 進コードで、文字パターンは 16 進コードでそれぞれ印字されます。
  - ･パラメータが 2 つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。

メモ

- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード 20h（16 進コード）は「␣」、文字コード A0h（16 進コード）は「A0」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。
  【例】 改ページ→ ff　　　FFh（16 進コード）→ FF

8

付録

動作モード共通のリスト

動作モード共通のリストについて説明しています。

重要　ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したリストとは一部内容が異なる場合があります。

共通ステータスプリント

搭載している RAM の容量や印刷環境の設定内容などが印刷されます。

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［ ▶ ］を押して「ステータスプリント」を表示します。
4. ［OK］を押して出力します。

Canon　ステータスプリント　LBP3970

バージョン：XXXX
サブバージョン：XXXX
エンジンバージョン：XXXX
オプションカセットバージョン：XXXX
フォントバージョン：XXXX

RAM容量：64 MB
モデル：日本

拡張機能グループ
スリープモード：パネルオフ
エラースリープ：する
スリープモード移行時間：15分
警告処理/トナー交換予告：継続
自動エラースキップ：しない
パネル表示言語：日本語
ブザー：1回
警告表示/トナー交換予告：する
カセット用紙なし：する
ウェイクアップタイマー：使わない
ウェイクアップ時刻：12:00
スリープタイマー：使わない
スリープ時刻：12:00
ディープスリープタイマー：使わない
ディープスリープ時刻：12:00

給紙グループ
デフォルト用紙サイズ：A4
手差しトレイ用紙サイズ：A4
手差しトレイ優先：しない
用紙不一致時トレイ：使わない
自動選択/手差しトレイ：使う
カセット1：使う
カセット2：使う
カセット3：使う
用紙名称/手差しトレイ：
カセット1：
カセット2：
カセット3：
デフォルト用紙タイプ：普通紙

レイアウトグループ
コピー枚数：1枚
縦位置補正：0.0 mm
横位置補正：0.0 mm
とじ方向：長辺とじ
とじしろ：0.0 mm

印字調整グループ
スーパースムーズ：使う
階調処理：標準
ドラフトモード：使わない
トナー濃度：4
中間調選択/テキスト：高解像度
グラフィックス：階調
イメージ：色調
画質警告：継続

インタフェースグループ
I/F選択/USB：使う
N/W：使う
タイムアウト：15秒
コネクション認識：する

動作モードグループ
動作モード選択：自動選択
自動切換/LIPS：使う
ESC/P：使う
優先エミュレーション：なし

ユーザメンテナンスグループ
トレイ/縦位置補正：0.0 mm
トレイ/横位置補正：0.0 mm
カセット1/縦位置補正：0.0 mm
カセット1/横位置補正：0.0 mm
カセット2/縦位置補正：0.0 mm
カセット2/横位置補正：0.0 mm
カセット3/縦位置補正：0.0 mm
カセット3/横位置補正：0.0 mm
リカバリ印刷：する
特殊モードJ：使わない
用紙サイズ置換：しない
うねり特殊処理：しない
画像特殊処理：モード1

デバイス　製造会社：XXXX
製品名：XXXX
表示名：XXXX
シリアルナンバー：XXXX

搭載コントローラ　LIPS：XXXX
LIPS LX：XXXX
ESC/P：XXXX

標準ネットワーク　バージョン：XXXX
MAC Address：XXXX

USB　ベンダーID：XXXX
プロダクトID：XXXX
シリアルナンバー：XXXX
USB動作モード：XXXX

LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

ESC/Pは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の商標です。

2006/10/16 19:07:36　Page Count : 0000008

8

付録

N/W ステータスプリント

本プリンタに内蔵されているプリントサーバのバージョンや設定内容などが印刷されます。

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「N/W ステータスプリント」を表示します。
4. ［OK］を押して出力します。

Canon　ネットワークステータスプリント　LBP3970

◆ 内蔵型プリントサーバ ◆

Ethernetドライバ設定
　自動検出　:オン
　MACアドレス　:00:00:85:66:f0:d3

TCP/IP設定
　プロトコル
　　DHCPによるアドレス設定　:オフ
　　RARPによるアドレス設定　:オフ
　　BOOTPによるアドレス設定　:オフ
　IPアドレス
　　IPアドレス　:192.168.0.215
　　サブネットマスク　:0.0.0.0
　　ゲートウェイアドレス　:0.0.0.0
　DNS
　　DNSプライマリサーバアドレス　:0.0.0.0
　　DNSセカンダリサーバアドレス　:0.0.0.0
　　DNSホスト名　:Canon66F0D3
　　DNSドメイン名　:
　　DNSの動的更新　:オフ
　WINS
　　WINSによる名前解決　:オフ
　　WINSサーバアドレス　:0.0.0.0
　ARP/PING
　　ARP/PING　:オン
　FTP
　　FTP印刷　:オン
　　FTP印刷ユーザ名　:
　　FTP設定　:オン
　LPD
　　LPD印刷　:オン
　　LPDバナーページの印刷　:オフ
　RAW
　　RAW印刷　:オン
　　双方向　:オフ
　BMLinkS
　　BMLinkS　:使わない
　IPP
　　IPP印刷　:オン
　　IPP認証　:オフ
　　IPPユーザ名　:
　HTTP
　　HTTP　:オン
　マルチキャスト探索
　　探索応答　:オン
　SNTP
　　SNTP　:オフ
　　NTPサーバ名　:

AppleTalk設定
　AppleTalk　:オフ
　サービスの名称　:LBP3970
　サービスが登録したゾーン　:*

SMB設定
　SMBサーバ
　　SMBサーバ　:オフ
　　サーバ名　:
　　ワークグループ名　:

SNMP設定
　SNMP　:オン

起動時間
　起動待機時間　:0 秒

IPアドレス範囲
　受信/印刷拒否　:無効
　　拒否IPアドレス　:
　受信/印刷許可　:無効
　　許可IPアドレス　:
　設定/参照拒否　:無効
　　拒否IPアドレス　:
　設定/参照許可　:無効
　　許可IPアドレス　:

MACアドレス
　受信許可MACアドレス設定　:無効
　　MACアドレス　:

CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の商標です。

印字位置プリント

各給紙元の現在の印字位置が印刷されます。印刷結果で印字位置の調整を行います。詳しくは、ユーザーズガイド「第 4 章 日常のメンテナンス」を参照してください。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［給紙選択］を押して、印字位置を確認したい給紙元を選択し、［OK］を押します。
3. ［オンライン］を押してオンライン状態にします。
4. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
5. ［►］を押して「インジイチプリント」を表示します。
6. ［OK］を押して出力します。

動作モード専用のリスト

動作モード専用のリストについて説明しています。

重要　ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したリストとは一部内容が異なる場合があります。

LIPS ステータスプリント

LIPS 専用セットアップメニューの設定内容が印刷されます。

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［▶］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［OK］を押して、LIPS　専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［▶］を押して「ステータスプリント」を表示します。
6. ［OK］を押して出力します。

<< LIPS STATUS PRINT >>

レイアウト

行数：６ＬＰＩ
桁数：自動
自動改ページ：する
自動改行：する
ＬＦ機能：ＬＦのみ
ＣＲ機能：ＣＲのみ
ページの向き：縦
スタートアップマクロ：３０

フォント

漢字コード：ＪＩＳ
文字サイズ：１０ポイント
漢字書体：明朝
ＡＮＫ書体：明朝
漢字グラフィックセット：ＪＩＳ９０

拡張機能

ＬＩＰＳジョブタイムアウト：しない
拡大／縮小：しない
複数ページ印刷：しない
複数ページ余白：パターン１
網かけ解像度：クイック
オーバレイ１：しない
オーバレイ２：しない
白紙節約：する

ＬＩＰＳバージョン：Ｖｅｒ．８１．０１

8
付録

LIPS フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントの一覧が印刷されます。

FONTS LIST

ＬＩＰＳⅢ・Ⅳ　内蔵：スケーラブル　　PAGE. 001

文字セット名称 Gr.Set	Pitch	Size	Style	StrokeW.	Typeface#(Sub)	SAMPLE
Mincho-Medium-H.ROMA 74 J	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
Mincho-Medium-H.KATA 73 I	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	チツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレ
Mincho-Medium-H.HIRA 49 1	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	ちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれ
Mincho-Medium-HPS.ROMA 74 J	PS	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
Mincho-Medium-HPS.KATA 73 I	PS	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	チツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレ
Gothic-Medium-H.ROMA 74 J	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	81(10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
Gothic-Medium-H.KATA 73 I	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	81(10)	チツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレ
Gothic-Medium-H.HIRA 49 1	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	81(10)	ちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれ
Gothic-Medium-HPS.ROMA 74 J	PS	scalable	0 Upright	0 Medium	81(10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
Gothic-Medium-HPS.KATA 73 I	PS	scalable	0 Upright	0 Medium	81(10)	チツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレ
Garland-Medium-H.ROMA 74 J	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	16(10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
Garland-Medium-H.N_KATA 2353)#1	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	16(10)	チツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレ
Garland-Medium-H.N_HIRA 2354)#2	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	16(10)	ちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよらりるれ
Garland-Medium-H.N_GRF 2355)#3	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	16(10)	▲▼○／＼╳円年月日時分秒
LinePrinter-Bold.ROMA 74 J	FIX	scalable	0 Upright	3 Bold	0(10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
LinePrinter-Bold.KATA 73 I	FIX	scalable	0 Upright	3 Bold	0(10)	チツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレ
Mincho-Medium.J78 192 @	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	あいうえおアイウエオ亜意右絵緒
Mincho-Medium.J90 194 B	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	あいうえおアイウエオ亜意右絵緒
Mincho-Medium.I90 2242 (.2	FIX	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	あいうえおアイウエオ亜意右絵緒
Mincho-Medium-PS.J78 192 @	PS	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	あいうえおアイウエオ亜意右絵緒
Mincho-Medium-PS.J90 194 B	PS	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	あいうえおアイウエオ亜意右絵緒
Mincho-Medium-PS.I90 2242 (.2	PS	scalable	0 Upright	0 Medium	80(10)	あいうえおアイウエオ亜意右絵緒

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［OK］を押して、LIPS　専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［►］を押して「フォント　リスト」を表示します。
6. ［OK］を押して出力します。

メモ　この他に、本プリンタに内容が登録されている場合にのみ、「LIPS オーバレイリスト」、「LIPS マクロリスト」、「LIPS フォームリスト」、「LIPS オーバレイプリント」が印刷されます。

ESC/P ステータスプリント

ESC/P 専用セットアップメニューの設定内容が印刷されます。

ＥＳＣ／Ｐ　ステータスプリント　Ver.01.00

メニュー項目	項目	登録状態
ページレイアウト	ページフォーマット	実寸縦
	上余白	０
	用紙位置微調整	０
	領　域	標準
	右マージン既定値	１３６桁
	用紙サイズ	Ａ４
	２ページ印刷指定	しない
フォント	漢字書体	明朝
	フォントＩＤ	２
	漢字サイズ	システム
	文字コード	カタカナ
	国別文字	日本
印字機能	イメージの補正	しない
	縮小文字印刷	しない
印字動作	改行機能	ＬＦコマンドを待つ
ＶＦＣ	連続用紙長	システム
	単票用紙長	システム
	ミシン目スキップ	しない
その他	登録レベル	一時

ＥＳＣ／Ｐは、セイコーエプソン株式会社の商標です。

1. オンライン状態になっていることを確認します。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「ESC/P　ユーティリティ」を表示します。
4. ［OK］を押して、ESC/P 専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［►］を押して、「ステータスプリント」を表示します。
6. ［OK］を押して出力します。

本プリンタについての注意事項

本プリンタは従来のレーザショットシリーズと仕様が異なる点があり、操作のしかたや印刷の結果が異なることがあります。以下に、本プリンタと従来シリーズとの違いについて主な注意点を説明します。

従来 LIPS III シリーズとの違いについて

従来 LIPS III シリーズとは、LBP-A309GII、A304GII、A304EII、A304E、310、320、320PRO、350、B406GII、B406G、B406EII、B406E、B406S、B406D、A404F、A404GII、A404E、A404、A405Jr です。

■ フォント

- 本プリンタ内蔵の明朝体・角ゴシック体は「平成」書体を採用しています。従来シリーズとは書体が異なるため文字のデザインや太さなど印字結果が異なります。また、楷書体フォントについても従来シリーズの書体と異なっています。
- 従来機で使用していたグラフィックセット「J83」を「J90」に改名し、JISX0208-1990で追加された2文字(コード7425および7426)を追加しました。
- クーリエのスケーラブルフォントや従来のJBM1フォントカード相当など、追加されたフォントがあるため LIPS モードで正確なフォント選択をしていなかった場合、追加されたフォントで印刷されることがあります。

■ データ処理解像度

- 従来のシリーズでは 300dpi ／240dpi で入力データを処理していましたが、本プリンタでは 600dpi で処理をしています。このため、印刷結果などに細かな違いが出てくる場合があります。LIPS ／エミュレーション各モードでの主な注意点は以降の各モードの注意点をご参照ください。

■ 描画処理の違い

- 図形や文字の印刷の描画処理が効率化・統合化等のために変更されており、線のパターンや接続・強調印字など細かな印刷結果やスピードに違いが出ることがあります。

■ メニュー操作

- 従来シリーズと環境設定メニューの構造が異なっており、LIPS ／エミュレーション共通メニューと各動作モード固有のメニューに分かれています。また、設定したメニュー値は操作の都度記憶されリセットや電源オフをしても引き継がれます。
- 本プリンタでは複数のエミュレーションの切り替えをサポートしており LIPS でもエミュレーションでもひとつの印刷単位を「ジョブ」として取り扱います。ひとつの「ジョブ」がタイムアウトやジョブ終了コマンドで終了すると印刷環境などが初期化されます。

■ インタフェース関連

- 従来のシリーズでは ME-CARD 以外のエミュレーションではインタフェースを切り替えることができませんでしたが、本プリンタではすべてのエミュレーションでインタフェースを使用して切り替えることができます。
- 自動インタフェース切り替えでは従来のシリーズと異なりすべてのインタフェースからのデータを同時に受信します。

■ メモリ

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。

■ オプションのメモリやフォントなど

- 従来シリーズの拡張 RAM ボード、コントロールROM は使用できません。本プリンタ専用のオプションをご使用ください。

以下に各モード固有の注意について記載します。

■ LIPS III モード

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 従来のシリーズでは文字セット登録時、文字セット補助命令でスケーラブルするかどうかを指定しましたが、本プリンタでは指定に関わらずスケーラブル化して登録します。このため、印刷時に正しいサイズを指定していなかった場合、従来と異なるサイズで印字が行われます。
- ファインモードでの注意点
  - ・ファインモードでは 600dpi でデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約5.5m 四方から半分の約 2.8m 四方になります。
  - ・600dpi で印刷されるため、罫線等の太りかたやパターン等に微妙な違いが出ることがあります。

■ LIPS II モード

- 従来シリーズでは LIPS II モードは 240dpi で処理されていましたが、本プリンタでは600dpi で処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。
  - ・塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。
  - ・書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによる印刷結果の違いやスピードの違いがあります。
  - ・イメージデータ（写真画像など）や文字登録データなど 240dpi のドットパターンは600dpi に自動的に変換されるため、印刷結果の見た目が異なります。
  - ・従来 240dpi で印字位置を処理していたのに対し、600dpi で処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。
  - ・ベクタモードの座標範囲はLIPS IIIのファインモードでの注意点を参照してください。

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 描画処理の違いにより網掛けを重ねあわせたときに印刷結果が異なることがあります。

■ 内蔵エミュレーション

- 従来シリーズでは内蔵エミュレーションは240dpiで処理されていましたが、本プリンタでは600dpiで処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。
  - ･塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。
  - ･書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによる印刷結果の違いやスピードの違いがあります。
  - ･イメージデータ（写真画像など）や文字登録データなどのドットパターンは600dpiに自動的に変換されるため、印刷結果の見た目が異なります。また、イメージの補正処理の選択はできません。
  - ･本プリンタでは印字位置を600dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。
- 従来シリーズのPCN-201H/4やPCA-AX/3に搭載されていたキヤノン独自の拡張機能には対応していません。
- ジョブタイムアウトやメニュー操作によりエミュレーションのプリンタ設定は初期化されます。
- 描画処理の違いにより修飾文字を重ねたときの見た目が異なる場合があります。

従来LIPS IVシリーズとの違いについて

※従来LIPS IVシリーズとは、LBP-730、720、830、450、430、740、750、930などです。

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており、印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。
- オプションのコントロールROMをご利用になる場合､必ず本プリンタに対応のものをお使いください。従来LIPS IVシリーズにのみ対応しているオプションのコントロールROMは、本プリンタでは使えません。

LIPS IVc搭載のカラーBJとの違い

- LIPS IVはLIPS IVcを包含したコマンド体系ですが､ハード的な違いなど以下のような注意点があります。
  - ･カラーBJはLIPS IVcのコマンドを360dpiで処理しますが、本プリンタは600dpiで処理するため印刷結果の見た目が異なることがあります。
  - ･カラーBJとは上余白／下余白（非有効印字領域）が異なります。
  - ･本プリンタはモノクロのプリンタなので、冗長な色情報が含まれているカラー印刷用のデータは効率的ではありません。一般的にカラー印刷とモノクロ印刷を指定できる場合は、モノクロ印刷を選択することをおすすめします。また、本プリンタ専用ドライバが選択できる場合はそちらを選択してください。

本プリンタの制限事項

- LIPS メニューより拡大／縮小を行う場合、LIPS II+ モード用ユーザ登録文字セットおよびビットマップフォント Garland PS11 ／ ALP10 ／ ALP15 ／ ALP1125 は印字されないことがあります。
- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- テキストモードで縦書きに文字を印字する場合、2 バイト和文プロポーショナルフォント（Mincho-Medium-PS.XXX、Gothic-Medium-PS.XXX）は使用できません。文字ピッチが固定しているフォントをお使いください。
- 印字データや登録データで使用可能なメモリ容量は、プリンタの機種により異なります。
- 本プリンタでは、印字品質保持のための濃度調節や温度調節、あるいはエンジン状態監視のために、一時的に印刷が中断されることがあります。

ESC/P 準拠プリンタとの違い

ESC/P エミュレーションモードでは、ESC/P 対応アプリケーションソフトによる印刷ができますが、ESC/P 準拠プリンタとは異なる点があります。印刷にあたっては以下の点にご注意ください。

■ 解像度の違いについて

ESC/P 準拠プリンタの解像度 180dpi に対し、本プリンタは解像度 600dpi で、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、印刷結果が ESC/P 準拠プリンタと異なることがあります。

- イメージデータ
  解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。
  とくに「15" → B4 横」では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。
- 登録文字
  24 × 24 ドット構成の外字は、8 ポイント相当、32 × 32 ドット構成の外字は 10 ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。
- 印字間隔等
  解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。
- 右マージン
  文字が右マージンをわずか（1 ドット未満）でも超える場合は、改行します。

■ 文字パターンの違いについて

- 文字サイズ
「実寸縦」、「実寸横」、「10" → A4 縦」、「15" → B4 横」では 10 ポイント、「15" → A4 横」、「B4 → A4 縦」、「B4 → A4 横」では 8 ポイントの文字が印字されるため、ESC/P 準拠プリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。
- フォントデザイン
ESC/P 準拠プリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形や ANK/ 漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。
- 2 バイトコードの未定義領域
2 バイトコードの中で、ESC/P では未定義の領域に本プリンタ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンタ特有のパターンが印字されます。

■ その他の制限

- 登録文字数とメモリオーバー
文字の登録を行っているとき等にメモリが不足すると、「23　ダウンロードメモリ　フル」のメッセージが表示されます。
登録文字数を増やしたい場合は、以下のような方法で空きメモリを増やして再度印刷してください。

  ・ハードリセットをするか、プリンタの電源を入れなおす

  ・オプションの拡張 RAM の増設
- 白紙の排出
ESC/P エミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。
- ESC/P スーパー
ESC/P エミュレーションモードは ESC/P24-J84 仕様にのみ対応しているため、ESC/P スーパーのプリンタ設定では正しく印刷されません。

索引

英数字

あ

8
付録

た

な

は

ま

や

ら

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

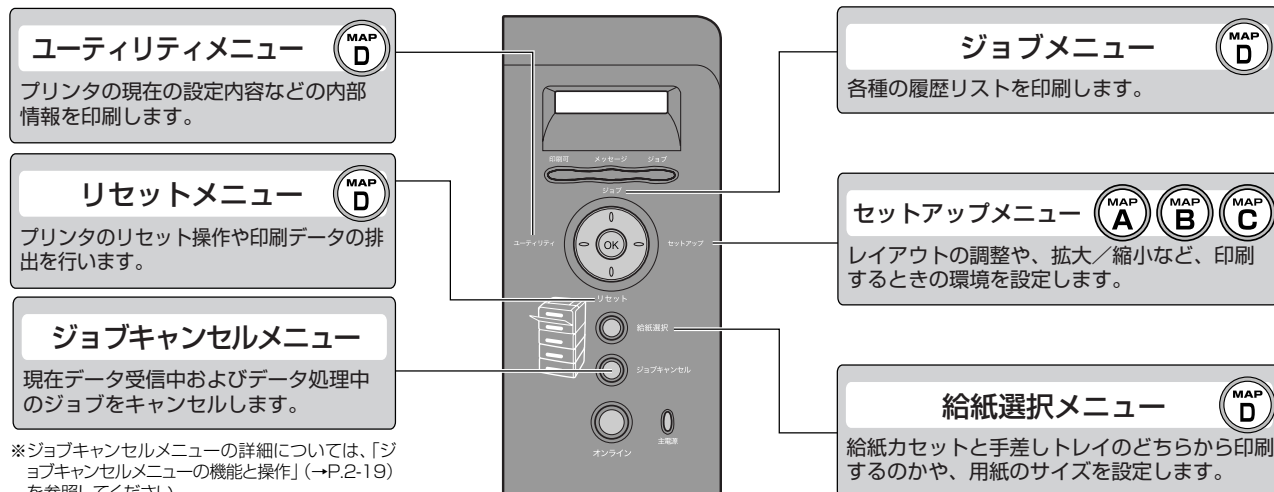
インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

メニュースタートアップ

※ジョブキャンセルメニューの詳細については、「ジョブキャンセルメニューの機能と操作」(→P.2-19)を参照してください。

各メニューを表示したあとのメニュー項目(内容)については、該当する MAP A から MAP D を参照してください。

ルートマップの見かた

- ルートマップ中の「┅」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- 「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは本文中の説明を参照してください。
- 「★」印が付いている項目や設定値は、LBP3970のみ表示されます。
- キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの ▲▼◀▶ と［OK］の5つのキーを使って操作します。
  - ▲ 上の項目に戻る。
  - ▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［OK］でも同様の操作が行えます。
  - ◀ 左の項目を選択する。
  - ▶ 右の項目を選択する。

MAP A MAP B 共通セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ° → カクチョウ キノウ →

※共通セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、オンライン状態では、「ユーザメンテナンス」グループの設定はできません。

MAP C LIPS専用セットアップメニュー（LIPS4セットアップ、LIPS LXセットアップ）を表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

※LIPS専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「LIPS4セットアップ」または「LIPS LXセットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
LIPS専用セットアップメニューが表示されます。

カクダイ/シュクショウ →

MAP C ESC/P専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

※ESC/P専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

2.「ESC/P セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

ESC/P セットアップ° →

3. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
ESC/P専用セットアップメニューが表示されます。

ページレイアウト →

MAP C IMAGING専用セットアップメニューを表示する

1.［セットアップ］を押します。
セットアップメニューが表示されます。

セットアップ° → カクチョウ キノウ →

※IMAGING専用セットアップメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示するこができます。

3.「IMAGING セットアップ」を表示します。
［◄］または［►］を押します。

IMAGING セットアップ° →

4. 下の階層へ進みます。
［OK］を押します。
IMAGING専用セットアップメニューが表示されます。

ガゾウノムキ →

MAP D 給紙選択メニューを表示する

1.［給紙選択］を押します。
給紙選択メニューが表示されます。

※給紙選択メニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。

MAP D ジョブメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ジョブ］を押します。
ジョブメニューが表示されます。

MAP D ユーティリティメニューを表示する

1.オンライン状態になっていることを確認します。
オンライン状態になっていない場合、［オンライン］を押します。

2.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

ユーティリティ → ステータスプリント →

MAP D リセットメニューを表示する

1.［ユーティリティ］を押します。
ユーティリティメニューが表示されます。

※リセットメニューはオンライン状態／オフライン状態のどちらでも表示することができます。ただし、プリンタにエラーが発生しているときは、「排出」をすることはできません。

メニュールートマップ

共通セットアップ編

メニュールートマップ

共通セットアップ編

MAP A（MAPAより）

インタフェース

- インタフェース選択 P.3-28
- USB
  - 使う
  - 使わない
- ネットワーク
  - 使う
  - 使わない
- タイムアウト P.3-28
  - 5秒
  - 15秒
  - 300秒
  - しない
- 標準ネットワーク *
  - TCP/IP設定 P.3-29
    - IPモード
      - 手動
      - 自動
    - プロトコル *
      - DHCP：オフ／オン
      - BOOTP：オフ／オン
      - RARP：オフ／オン
    - アドレス
      - IPアドレス（数値入力）
      - サブネットマスク（数値入力）
      - ゲートウェイアドレス（数値入力）
    - DNS
      - プライマリアドレス（数値入力）
      - セカンダリアドレス（数値入力）
    - WINS：オフ／オン
    - ARP/PING：オン／オフ
    - FTP
      - FTP印刷：オン／オフ
      - FTP設定：オン／オフ
    - LPD印刷：オン／オフ
    - RAW印刷：オン／オフ
    - BMLinkS：使わない／使う
    - IPP印刷：オン／オフ
    - HTTP：オン／オフ
    - SNTP：オフ／オン
    - 探索応答：オン／オフ
    - IPアドレス範囲設定
      - 受信・印刷拒否：しない／する
      - 拒否アドレス設定 *：拒否IPアドレス1〜拒否IPアドレス8
      - 受信・印刷許可：しない／する
      - 許可アドレス設定 *：許可IPアドレス1〜許可IPアドレス8
      - 設定・参照拒否：しない／する
      - 拒否アドレス設定 *：拒否IPアドレス1〜拒否IPアドレス8
      - 設定・参照許可：しない／する
      - 許可アドレス設定 *：許可IPアドレス1〜許可IPアドレス8
    - MACアドレス設定
      - 受信許可：しない／する
      - 許可アドレス設定 *：許可MACアドレス1〜許可MACアドレス50
  - AppleTalk * P.3-30：オフ／オン
  - SMB P.3-30
    - SMBサーバ：オフ／オン
  - SNMP P.3-30：オン／オフ
  - 起動待機時間 P.3-31：0秒／300秒
  - リモートUI設定 P.3-31
    - リモートUI：オン／オフ

下段に続く

上段から続く

- ETHERNETドライバ P.3-31
  - 自動検出：オン／オフ
  - 通信方式 *：半2重／全2重
  - ETHERNET種類 *：10BASE-T／100BASE-TX
  - MACアドレス（表示のみ）
- ネットワーク設定初期化 P.3-31
- 拡張カード
- コネクション認識 P.3-32：する／しない
- 拡張受信バッファ * P.3-32：使わない／使う

動作モード

- 動作モード選択 P.3-33
  - 自動選択
  - LIPS
  - N201 *
  - ESC/P
  - I5577 *
  - HP-GL *
  - HEX-DUMP
  - LIPS-DUMP
- 自動切り替え P.3-36
  - LIPS：使う／使わない
  - N201 *：使う／使わない
  - ESC/P：使う／使わない
  - I5577 *：使う／使わない
  - HP-GL *：使う／使わない
- 優先エミュレーション P.3-36
  - なし
  - LIPS
  - N201 *
  - ESC/P
  - I5577 *
  - HP-GL *

ユーザメンテナンス

- 印字位置調整 P.3-37
  - 縦位置補正（トレイ）：-5.0／0.0／5.0
  - 横位置補正（トレイ）：-2.59／0.0／2.59
  - 縦位置補正（カセット1）：-5.0／0.0／5.0
  - 横位置補正（カセット1）：-2.59／0.0／2.59
  - 縦位置補正（カセット2） *：-5.0／0.0／5.0
  - 横位置補正（カセット2） *：-2.59／0.0／2.59
  - 縦位置補正（カセット3） *★：-5.0／0.0／5.0
  - 横位置補正（カセット3） *★：-2.59／0.0／2.59
  - 縦位置補正（カセット4） *★：-5.0／0.0／5.0
  - 横位置補正（カセット4） *★：-2.59／0.0／2.59
  - 縦位置補正（両面） *：-5.0／0.0／5.0
  - 横位置補正（両面） *：-2.59／0.0／2.59
- リカバリ印刷 P.3-38：する／しない
- 特殊モードJ P.3-38：使わない／使う
- 用紙サイズ置換 P.3-39：しない／する
- 画像特殊処理 P.3-39：モード1／モード2／モード3
- うねり特殊処理 P.3-39：しない／する
- ファームウェア更新
  - USB P.3-40
  - 標準ネットワーク P.3-40

MAP C
MAPCをご参照ください

メニュールートマップ

ESC/P・IMAGING
LIPS4・LIPS LX セットアップ編

MAP B
MAPBより

LIPS4セットアップ

- 拡大/縮小 P.4-4: しない / ↓A3 / ↓B4 / ↓A4 / ↓B5 / ↓A5 / ↓ハガキ / ↓往復ハガキ / ↓4面ハガキ / ↓リーガル / ↓レター
- 複数ページ印刷 P.4-4: しない / 2ページ(左) / 2ページ(右) / 4ページ(横|左) / 4ページ(横|右) / 4ページ(縦|左) / 4ページ(縦|右)
- 複数ページ余白 P.4-6: パターン1 / パターン2
- ページの向き P.4-7: 縦 / 横
- オーバレイ1 P.4-7: しない / 0 / 32767
- オーバレイ2 P.4-7: しない / 0 / 32767
- スタートアップマクロ P.4-8: 0 / 30 / 32767
- 漢字コード P.4-9: JIS / シフトJIS / EUC / DEC
- 文字サイズ P.4-10: 10ポイント / 12ポイント / 8ポイント
- 漢字書体 P.4-10: 明朝 / ゴシック
- ANK書体 P.4-11: 明朝 / ゴシック / ラインプリンタ
- 漢字グラフィックセット P.4-11: JIS90 / JIS78
- 行数 P.4-11: 6LPI / 8LPI / 10~99
- 桁数 P.4-12: 自動 / 10CPI / 12CPI / 15CPI / 10~200
- 自動改ページ P.4-12: する / しない
- 自動改行 P.4-12: する / しない
- CR機能 P.4-12: CRのみ / CR+LF
- LF機能 P.4-13: LFのみ / LF+CR
- 網かけ解像度 P.4-13: クイック / ファイン
- ジョブタイムアウト P.4-13: しない / する
- 白紙節約 P.4-13: する / しない

LIPS LXセットアップ

- 白紙節約 P.4-14: する / しない

下段に続く

ESC/Pセットアップ

上段から続く

ページレイアウト

- ページフォーマット P.5-4: 実寸縦 / 実寸横 / 10"↓A4縦 / 15"↓A4横 / 15"↓B4横 / B4↓A4縦 / B4↓A4横
- 上余白 P.5-6: -127 / 0 / 127
- 用紙位置微調整 P.5-7: -127 / 0 / 127
- 領域 P.5-9: 標準 / ワイド
- 右マージン既定値 P.5-9: 136桁 / 右端
- 用紙サイズ P.5-9: A4 / B5 / A5 / ハガキ / A3 / B4
- 2ページ印刷設定 P.5-10: しない / 左 / 右

フォント

- 漢字書体 P.5-11: 明朝 / ゴシック / ID
- フォントID *P.5-11: 1 / 2 / 999
- 漢字サイズ P.5-11: システム / 8ポイント / 10ポイント / 12ポイント
- 文字コード P.5-12: カタカナ / グラフィックス
- 国別文字 P.5-12: 日本 / ノルウェー / デンマーク2 / スペイン2 / ラテンアメリカ / USA / フランス / ドイツ / UK / デンマーク / スウェーデン / イタリア / スペイン

印字機能

- イメージの補正 P.5-13: しない / する
- 縮小文字 P.5-13: しない / する

印字動作

- 改行機能 P.5-14: LFコマンドを待つ / 改行

VFC

- 連続用紙長 P.5-15: システム / 1行 / 199行
- 単票用紙長 P.5-16: システム / 1行 / 199行
- ミシン目スキップ P.5-16: しない / 1行 / 31行

その他

- 登録レベル P.5-17: 一時 / 永久

下段に続く

IMAGINGセットアップ

上段から続く

- 画像の向き P.6-3: 自動 / 縦 / 横
- 拡大/縮小 P.6-3: しない / 自動
- 印字位置 P.6-4: 自動 / 中央 / 左上
- 警告表示 P.6-4: 印刷 / パネル / しない
- 印字領域拡大 P.6-4: しない / する

パネル設定初期化

メニュールートマップ

その他のメニュー編

給紙選択メニュー
給紙選択メニューの設定項目 P.7-11
給紙選択メニューの機能と操作 P.2-21

- 給紙モード
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2 *
  - カセット3 *★
  - カセット4 *★
  - 手差しトレイ
- 手差しトレイ用紙サイズ
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - レター
  - レターR
  - リーガル
  - レジャー
  - エグゼクティブ
  - フリー
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - ハガキ
  - 往復ハガキ
  - 4面ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒Y2
  - 封筒K2
  - A5
  - B5
- カセット1用紙サイズ
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - フリー
- カセット2用紙サイズ *
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - フリー
- カセット3用紙サイズ *★
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - フリー
- カセット4用紙サイズ *★
  - ユーザセッテイサイズ
  - ユーザセッテイサイズR
  - フリー
- 両面印刷 *
  - しない
  - する

リセットメニュー
リセットメニューの設定項目 P.7-9
リセットメニューの機能と操作 P.2-17

- ハードリセット ソフトリセット
- 排出

ジョブメニュー
ジョブメニューの設定項目 P.7-8
ジョブメニューの機能と操作 P.2-15

- ジョブ履歴リスト
- レポート履歴リスト

ユーティリティメニュー
ユーティリティメニューの設定項目 P.7-4
ユーティリティメニューの機能と操作 P.2-13

- ステータスプリント
- LIPSユーティリティ
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバレイプリント
- N201ユーティリティ *
  - ステータスプリント
- ESC/Pユーティリティ
  - ステータスプリント
- I5577ユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - オーバレイプリント
- HP-GLユーティリティ *
  - ステータスプリント
  - サンプルプリント
- クリーニング
- N/Wステータスプリント
- 拡張カードリスト
- 印字位置プリント

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間] <平日> 9:00～20:00 <土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-0786 (03)